

南房総市公共サインデザインマニュアル

平成21年3月

南房総市

目次

1.	マニュアル策定にあたって	
(1)	マニュアルの策定趣旨	1
(2)	マニュアルの適用範囲	2
(3)	公共サインの分類	3
2.	サイン整備の基本方針	
(1)	デザインコンセプト	7
(2)	体系化・階層化システム	8
(3)	基本カラー	14
(4)	使用書体	16
(5)	板面の形状	17
(6)	ピクトグラム	18
(7)	英文標記	19
(8)	地名表示	20
(9)	レイアウト	21
(10)	素材・仕上げ	24
3.	デザインマニュアル	
(1)	誘導機能	
A	広域レベル	25
B	地区内レベル	29
C	近隣空間内レベル	31
D	個別レベル	33
(2)	表示・説明機能	
E	場所・空間・施設名称の表示	37
F	案内や説明による情報伝達	43
G	注意喚起	53
4.	デザインマニュアルの使用方法	
(1)	既存サインへの対応	55
(2)	新規サインの整備手順	56
(3)	管理・メンテナンス	57

— 資料編 —

・南房総市サイン計画検討委員会	59
・日本大学生産工学部建築工学科川岸研究室	63
・マニュアル策定過程	65
・サイン現況調査結果	67
・標準案内用図記号（ピクトグラム一覧）	69
・参考設計	75
・管理台帳様式	97

1. マニュアル策定にあたって

(1) マニュアルの策定趣旨

南房総市は、平成18年3月、富浦町・富山町・三芳村・白浜町・千倉町・丸山町・和田町の7町村が合併して誕生しました。その合計面積は230.22km²に及ぶ広大なものとなり、市全体の構造を視覚的に認識することは不可能と言わざるを得ません。

このような現状を踏まえ、合併による新市の一体性の速やかな確立や、まちの魅力を伝えることを目的とし、市民や来訪者にとってわかりやすく親切で、地域景観の向上にも貢献する美観性と視認性に優れた統一的なサインの整備をするため、本デザインマニュアルを策定しました。

策定にあたっては、行政だけで検討するのではなく、市内各種団体等からの委員による検討委員会を設置し、市民との協働により検討を行いました。更に、専門的な見地から、日本大学生産工学部建築工学科川岸研究室の協力を得ながら策定を行いました。

本デザインマニュアルは、これからの南房総市にふさわしい公共サイン掲出のあり方を示し、また、効率的・効果的なサイン整備・管理を行おうとするものです。

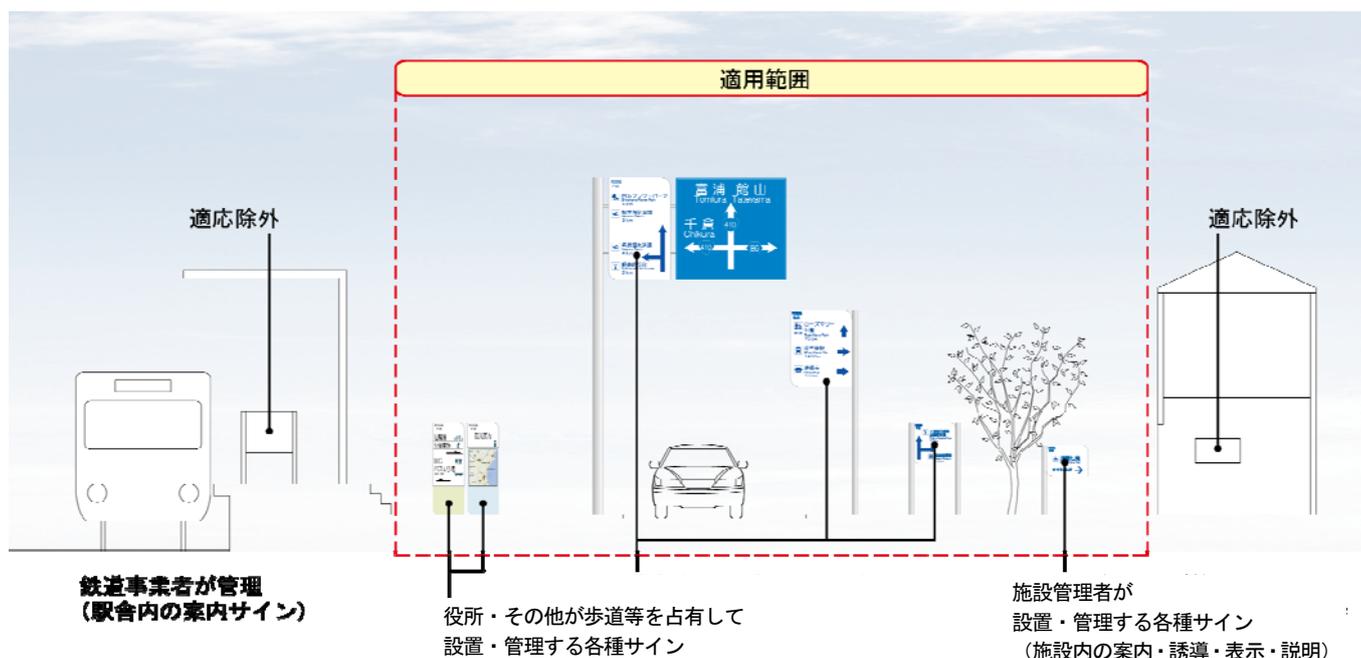
(2) マニュアルの適用範囲

公共サインとは、市や国・県が道路や公共施設の敷地上に公共目的のために設置するもので、その表示される内容は、公共的な情報で、分かりやすく周囲の景観との調和が必要となります。

公共サインの場合、サインの管理者が異なる場合など、このサインデザインマニュアルが適用されない場合もあり、個別のサインの設置なども想定されます。しかしながら、景観に配慮したまとまりのあるサインデザイン、体系的・階層的なサインシステムの構築を目指し、異なる管理者が相互に協議していくことで、一体的なサイン整備を展開していくことが望まれます。本マニュアルでは市が設置するいわゆる「公共サイン」のうち、誘導機能及び表示・説明機能の役割を担うサインについて取り扱うものとします。

なお、本マニュアルでは、道路標識令のような法令等に定められているサイン、駅施設内に設置されているサインなど、一定の基準による独自のサインシステムとして計画されているサインについては、適用範囲から除外しています。

また、今後は本マニュアルに基づく板面の形状やカラーリング等の仕様について、民間事業者にも協力をお願いすることにより地域が一体となって魅力あるエリアとしてPRしていけるよう啓発活動を行っていきます。



(3) 公共サインの分類

公共サインには、多種多様な目的や機能を有するものがあり、その要素から一般的に以下に示す分類に分けることができます。

A) 交通系

道路上に案内・誘導・規制・地点表示等の目的で設置されるサイン

①道路名称サイン：道路の名称等を表示するサイン



②案内サイン：地図を用いて、現在地とその周辺の地理、施設配置の状況等を表示するサイン



③誘導サイン：目的地の方向や目的地までの距離等を表示することにより誘導情報を表示するサイン



④規制サイン：道路に関する様々な規制や警戒を表示するサイン
(道路標識令に準ずる)



B) 施設系

施設・空間の地点表示やその説明の目的で設置されるサイン

- ①施設名称サイン：施設・空間の名称を表示する
サイン



- ②説明サイン：観光地・場所、施設・空間等の概要
や情報を説明文等により表示する
サイン



- ③住居表示（位置表示）サイン：現在地の住所を表
示するサイン



C) PR系

不特定多数の人に対してPRすることを目的として設置されるサイン

- ①歓迎サイン：地域を訪れる人（観光客をはじめとした来訪者）に対して歓迎の意を表示するサイン



- ②地域情報サイン：地域CI等の地域からの発信（呼びかけ・伝達・注意等）を表示するサイン



- ③イベントサイン：イベントのPRのための情報を表示するサイン



市内において必要となる情報は、まちの構造、施設の位置、交通機関の情報、店舗情報、住居表示、イベント情報など、多種多様です。また、情報を受け取る利用者も子供から高齢者、健常者、障害者、徒歩、自転車・自動車利用者、外国人など多岐にわたり、必要とする情報の内容、伝達の方法もそれぞれ異なります。これらに良好に対応するため、情報の種類・内容、利用者の違いに応じて、情報を整理し体系的にサインを構築することが重要です。

一方、サインの主要な機能は、案内・誘導、表示・説明機能です。利用者は、これらのサインの情報を連続的に視認し、内容を確認し、必要な情報を認識することにより、目的地に到着することができます。そのため、提供される情報が途中で途切れてしまい、連続性が確保されていないサインとならないように、それぞれのサイン（情報）の連続性・関係性が重要となります。

これらを踏まえ、サインの体系的・階層的整備の観点から、サインの主要な機能である「誘導機能」と「表示・説明機能」がサイン計画・整備の重要な要素となります。

2. サイン整備の基本方針

(1) デザインコンセプト

- 利用者の目的に良好に対応するサイン
- 景観と調和するサイン

サインには、「まちの構造を伝達する」、「まちの個性を表現する」、「まちの空間・時間を演出する」要素が内在しています。そして、サインは、そのまちの空間・時間・活動などを演出する役割を担っていると考えられます。

地域固有の特性は、一般的に「土地柄」や「その土地らしさ」をまちの個性としてきました。このような土地柄やしきは、様々な要素が重なり合い、関係し合いながら構成されています。土地の習慣、地勢、気候、風土などの全ての要素からまちがイメージされます。その中でも、まちを構成している自然、建物の形態、景観的・視覚的な情報は、来訪者にとってまちを知るうえでの重要な要素となります。まちを理解するということは、まちの歴史、生活や習慣、生活文化の違いなどを知ることであり、これらを情報として伝達することもサイン計画の重要な側面であり、サインが担う役割です。同時に、まちが潜在的に有する個性を表現し、目的とする空間・場所をイメージさせるような、まちを構成する様々な要素を顕在化させることもサインとしての重要な要素です。

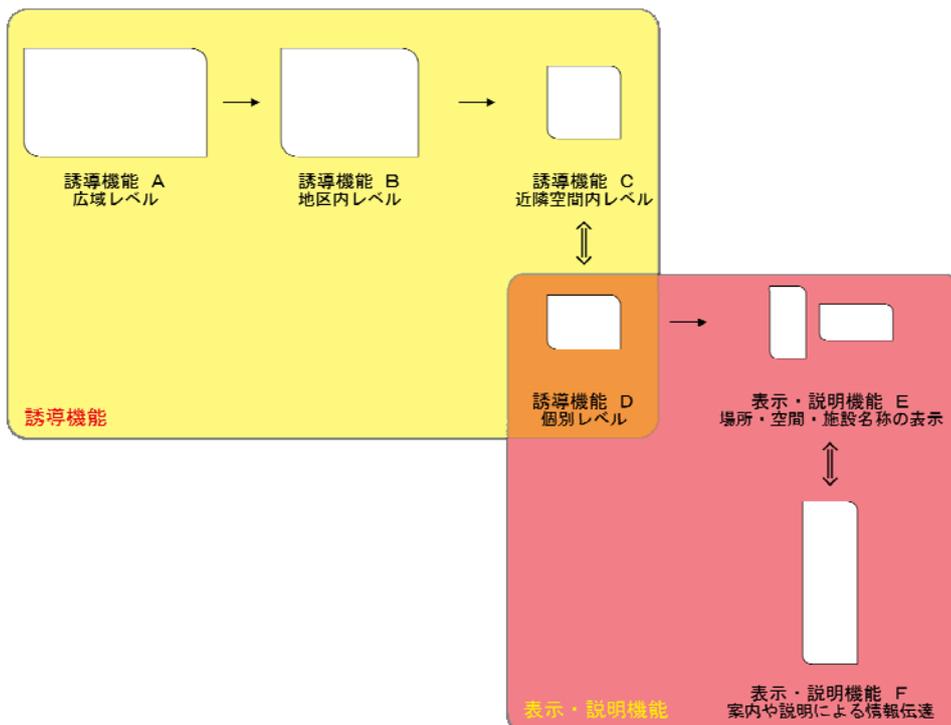
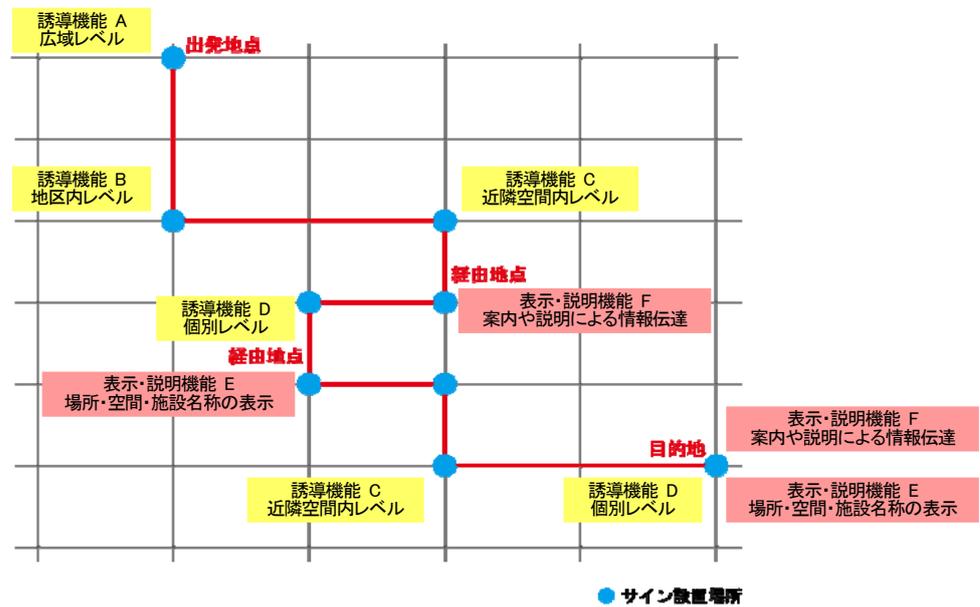
まちのサインには、その機能や目的の違いから、さまざまなサインがあります。豊かな自然環境や公園の中で景色を楽しむ場所において必要となるサイン、各種交通機関や道路などにおいて確実に迅速な情報提供が求められるサイン、遊んだり、食べたり、楽しむ環境において必要となるサインのように、生活空間には多種多様なサインがあります。そのため、サインのデザインは、そのサインが設置される場所の景観に調和することが求められます。必要以上の数、必要以上の大きさ、強すぎる表現、景観との調和から逸脱した目立ちすぎるサインなど、情報そのものは視認することができても、その場所・空間において快適な情報環境とは言えません。利用者の目的に良好に対応するサインのデザインは、必要な情報が利用者に快適かつ確実に伝達されるとともに機能的なサインとなり、同時に、景観と調和するサインとなります。

(2) 体系化・階層化システム

■情報内容の体系化・階層化

サインから提供される情報、利用者から求められる情報の種類は、まちの説明・構造、施設の名称、交通情報など多岐にわたるとともに、子供や高齢者、徒歩や自動車などサインの利用者が必要とする情報内容や適切な伝達方法もそれぞれ異なります。

そのため、異なる利用者の状況に対応可能な、情報の種類・内容、サイズ、伝達方法等を体系化・階層化して、地域における一連のサインとして、情報を提供するサインシステムが重要となります。

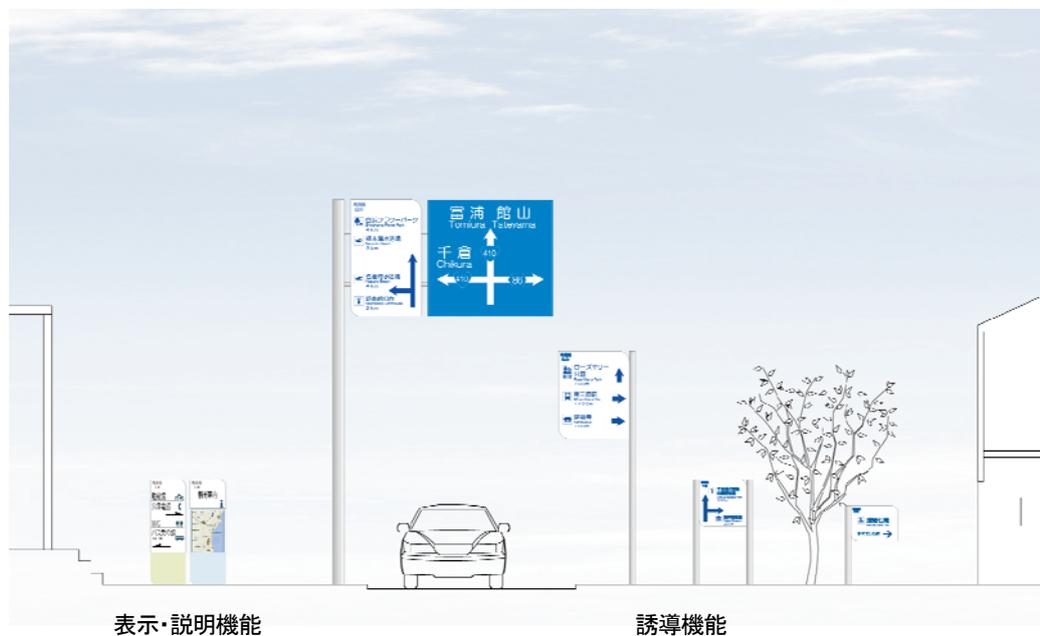


体系化されたサイン分類に対応して個々のサインを計画し、体系別のサインの中から、情報の必要性の高いものから階層化することにより、利用者が必要とする情報を、自ら自由に選択することができ、その情報によりの確に目的地まで誘導され、その目的地において必要な情報を受け取ることができるような、地域における利用者の一連の行動に対応する連続性を有するサイン計画が求められます。

■情報伝達の連続性とネットワーク

サインの主要な機能である案内、誘導、表示、説明機能は、それぞれが連続することによって、情報が伝達され、目的とする施設・空間に到達することが出来るようになります。連続性が保持されていない場合は、個別のサインとしての役割は有するものの、地域情報を提供するサインとして必要な機能を果たすことが出来ません。

そのため、視覚的に、見つけやすく、分かりやすく、個々のサインが関連性を有するデザイン、利用者にとって必要な情報を得ることができるサインであるとすぐに判別できるサインデザインとすることが重要となります。



サインの連続性とネットワーク

- : 視覚的に認識しやすく、個々のサインが関連性を有するサインデザイン
- : 利用者にとって必要な情報をすぐに判別することができるサインデザイン

■サインとしての役割・機能の保持と景観との調和

サインは、目的や機能等の違いから、異なる様々な立地・周辺環境の中に設置されます。そのため、設置される異なる立地・周辺環境と関連し、周辺の景観と調和するサインデザインが必要です。必要以上のサイズ、必要以上の数、強すぎる表示などは、利用者にとって快適な情報環境とは言えません。適切なサインの役割・機能が保持された、そのサインの目的に適合するサインデザインと景観との調和が重要です。そのようなサインは、結果的には分かりやすく、機能的かつ良好なサインとなります。



不適切と思われるサインの例

■他の既設物（照明、信号、サイン等）との整合性

生活空間には、サイン以外にも生活に必要となる様々な照明や信号など、ストリートファニチュア等が存在しています。サイン計画において、サインのみの適切な配置システムを計画しても、他の既設物（照明、信号等）の設置場所・位置と競合してしまい、本来有するサイン情報の視認性が低下するような現状がみられます。

そのため、サインとストリートファニチュアとの関係性、他の既設物と連携（供架）などを考慮して計画することにより、煩雑とならないよう、周辺景観を良好に保つ設置場所・方法が必要となります。



不適切と思われるサインの例

■誘導機能

誘導機能においては、目的地の方向や目的地までの距離等を表示することにより、誘導情報を伝達する主たる機能を担っています。

また、必要となる誘導情報を、来訪者や居住者のように異なるどのような利用者にも、どこの場所においても、分かりやすく適切に情報を伝達するために、総合的・階層的サインシステムにより、サイン相互の連携機能に基づきサイン計画を行う必要があります。

従って、誘導機能では、以下に示す4段階のサインデザインとします。

A 広域レベル (サイズ 大)

地域外の遠方からの来訪者に対して、目的地が位置している地域まで誘導するサイン。主要幹線道路上に設置するサインであり、南房総市への入り口やその周辺において、主要幹線道路から南房総市市街地内に向かう主要道路への誘導機能を担うサインです。目的地から概ね5 km以上離れたところに設置します。

B 地区内レベル (サイズ 中)

地区内において、目的地が位置している近隣空間まで誘導し、目的地の周辺まで到達させることができるサイン。幹線道路から南房総市に入り、地区を經由して、目的地の近隣空間まで至る主要道路上に設置するサインであり、目的地まで導くために、必要に応じた適正な要所(交差点等)に計画的に配置します。目的地から概ね1 km以上5 km未満離れたところに設置します。

C 近隣空間内レベル (サイズ 小)

目的地の近隣空間内において、目的地が位置している場所・空間まで誘導し、目的地に到達させることができるサイン。近隣空間内の街路において、目的地を的確に示すためのサインであり、他のサインと混同することがないように相互の関係性を考慮したうえで、必要十分サインを適切な位置に配置します。目的地から概ね200m以上1 km未満離れたところに設置します。

D 個別レベル (サイズ 小)

個別の場所・空間・施設等を案内表示・説明するサイン。個別の場所・空間・施設等の入り口に設置するサインと、入口に向かう街路の手前に設置するサインがあります。周辺的情況(立地や景観等)を十分に考慮したうえで、必要以上に過剰なサインとならないように配慮し、視認しやすい位置に配置します。目的地に近接する交差点または入口等に設置します。

■表示・説明機能

表示・説明機能は、現地においてその場所や空間・施設等を必要な情報により表示・説明する機能を担っています。

これらのサインは、利用者の適切な理解を助けるために、文字情報に限らず、図や写真等を効果的に用い、どのような利用者（子供から高齢者、移動手段・速度、求められる情報等）にも良好な情報伝達が可能となるように計画します。

E 場所・空間・施設名称の表示（サイズ 小）

◆誘導サインと連携

「誘導機能D」と相互関係を有するサインとします。個別の場所・空間・施設等へ誘導する「誘導機能D」サインから受け継ぐ機能を担います。従って、相互のサインが連携し、目的地に到着したことを適切に伝達すると共に演出する必要があります。

◆個別名称表示

一般的な施設名称を表示することが求められる場合（公共公益施設、学校、病院等）に設置されるサインで、「表示・説明機能E」から派生するサインとなります。

F 案内や説明による情報伝達（サイズ 指定なし）

◆案内・説明情報伝達

「表示・説明機能E」の名称表示サインに、関係する各種の案内や説明、誘導情報による情報伝達機能を付加したサインとして位置づけられます。

G 注意喚起等の特別な情報伝達（サイズ 指定なし）

◆特別な情報の伝達

注意喚起等の特別な情報を伝達するサインで、必要に応じて関係する各種の案内や説明による情報伝達機能を付加したサインとして位置づけられます。

当市の現状を踏まえると、例えば「ポイ捨てをやめよう」、「遊泳禁止」、「バーベキュー禁止」、「駐車禁止」など、観光スポットにおいて注意喚起を行うことが多くあります。

そうした場合は、長期間設置を目的としているというよりは、ある程度、消耗品としての取り扱いをされることが多いことから、デザインは共通のものを使用しながら、素材に関しては設置目的・期間・場所等を考慮し、木質系材料等を適宜選択することにより、柔軟に対応することとします。

なお、交通に関する「スピード落とせ」等の交通に係わる注意喚起サインについては、その性質上、ドライバー等に対して目立たせる必要があることから、黄色系の目立つカラーリングにてサインを構成することが多くなっています。そのため、マニュアルの適用範囲から除外することとします。

(3) 基本カラー

カラーは、視認しやすいカラーを基本とします。

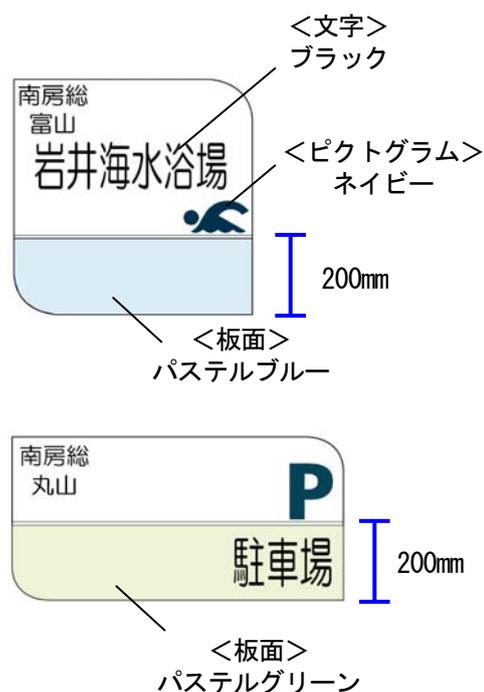
他のサイン、周辺景観等と色彩的に競合、混乱することが起こらないように、煩雑とならないようにシンプルな基本カラーとします。

誘導機能はシンプルに構成し、表示・説明機能はそのサインの情報内容をより分かりやすく表現するために、板面に彩色（パステルブルー・パステルグリーン）します。

◆誘導機能

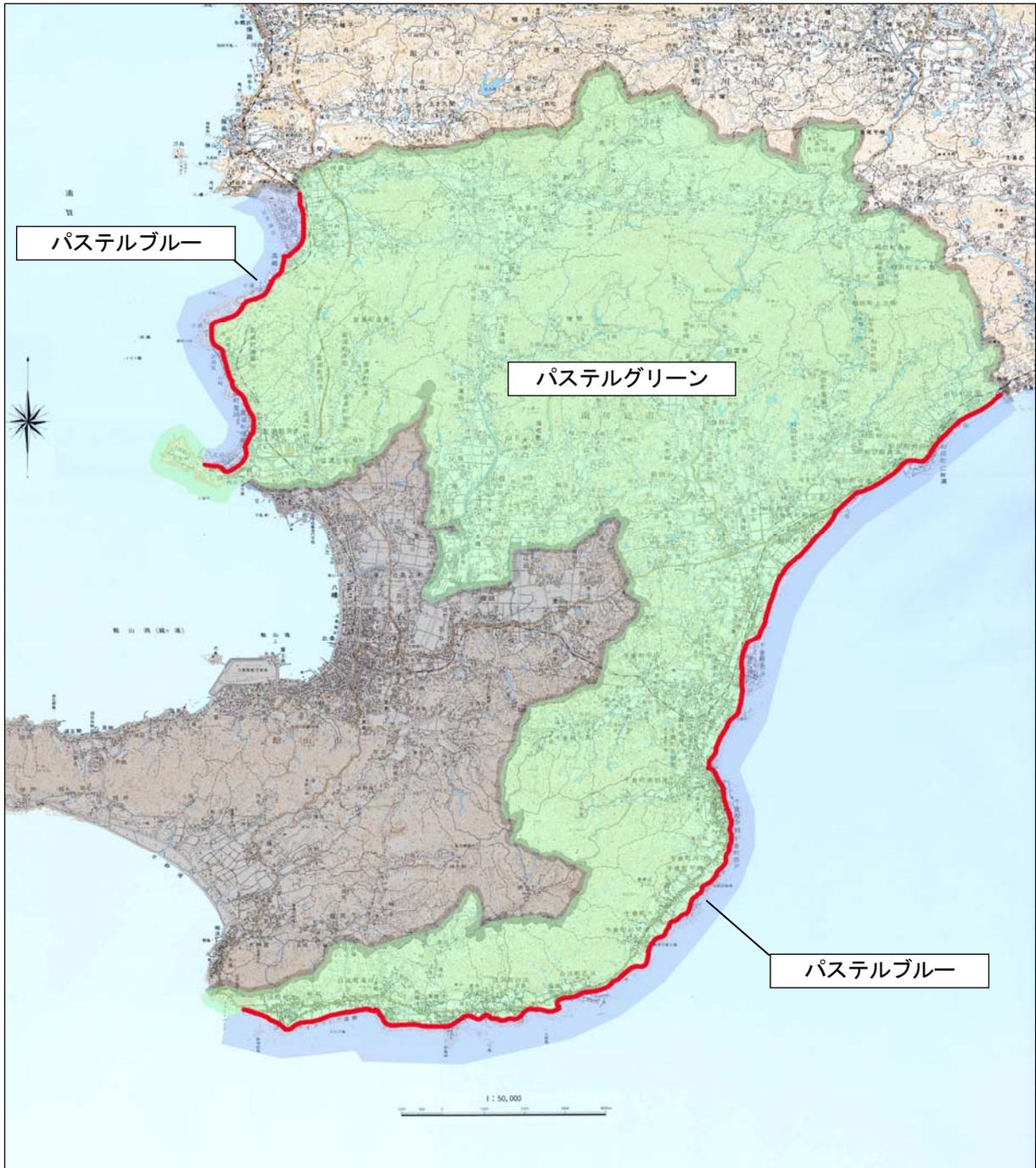


◆表示・説明機能



「文化財」のピクトグラムは、「文化財愛護シンボルマーク」（文化庁）を使用することとします。そのため、文化財のピクトグラムのカラーはマニュアルの規定外となります。

なお、板面を彩色する場合に使用するパステルブルー及びパステルグリーンは、サインを設置する場所の立地特性に基づき、以下の地図に示す範囲により選択することとします。



※赤線で示した道路

富山～富浦地区：国道127号線

白浜～和田地区：国道410号線～市道白浜1号線他～国道410号線
～県道297号線～国道128号線

(4) 使用書体

書体は、視認性に優れた書体とします。

特に公共サインに用いる書体は、だれにも分かりやすいことが基本となります。文字の読みやすさは、利用者の視認距離と移動速度に関係します。そのため、誘導機能では、利用者の遠方からの視認性に配慮し、表示・説明機能では、情報内容の説明性に配慮します。

誘導機能、表示・説明機能ともに、標準書体を丸ゴシック体とします。

ただし、表示・説明機能においては、状況に応じて準標準書体として明朝体で表現することも可とします。

英文の文字の大きさは、併記している和文の大きさの50%を基準とします。

【標準書体】丸ゴシック体〔HG丸ゴシックM-PRO〕

南 | 誘導機能 : 90~60mm
表示・説明機能 : 135mm | minami | 45~30mm

誘導機能の文字の大きさは、サインの設置場所・位置、視認性を考慮して、必要に応じて135mmまで拡大して表記することとします。

【準標準書体】明朝体〔平成明朝W7〕

南 | 表示・説明機能 : 135mm | minami | 45~30mm

(5) 板面の形状

サインの形状は、効果的に情報を伝達することが可能であることが重要であり、景観と調和するシンプルな形状であることが必要です。加えて、統一されたサインデザインにおいて、南房総市のサインである顕在性を確保することも必要です。

南房総市を表現する個性あるサインとしての形状とします。

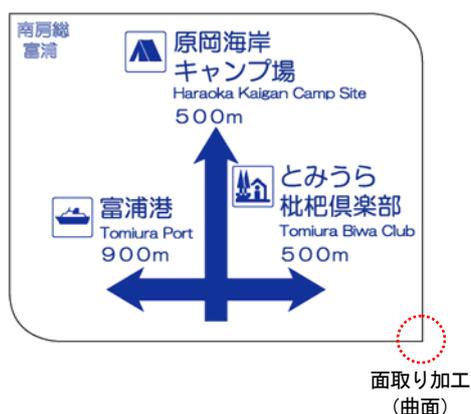
サインの種類が異なっても基本形状は変えない統一したデザインとします。

表示内容変更・更新が容易な形状とし、誘導機能、表示・説明機能ともに、サイン右上及び左下に丸みを帯びたデザインとします。

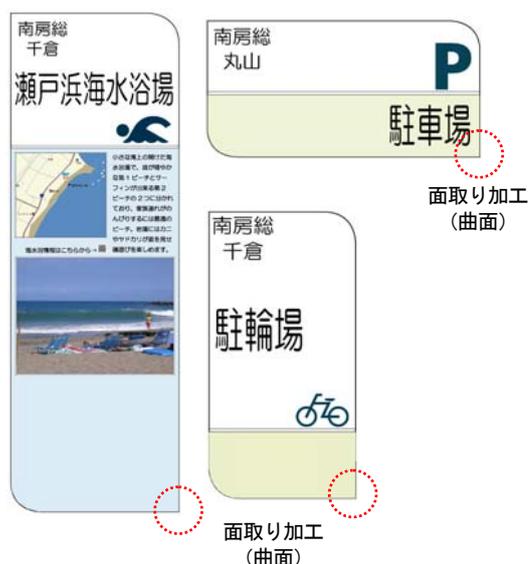
なお、サイン右下の端部は、安全に考慮し、面取り加工（曲面）を施します。

加えて、サインの板面は、サインの種類、設置場所等に対応して、片面表示と両面表示を適宜使い分けることにより、適切に構成すると共に設置することとします。

◆誘導機能



◆表示・説明機能



(6) ピクトグラム

ピクトグラム (Pictogram) は、一般に「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号 (サイン) の一つです。文字による文章で表現する代わりに、視覚的な図で表現することで、言語に制約されずに内容の伝達を直感的に行う目的で使用されます。

原則として、JISに定められた標準案内用図記号を使用し、誘導機能、表示・説明機能すべてのサインにピクトグラムを配置します。また、JIS案内用図記号に表記されていない内容に関しては、必要に応じてJIS案内用図記号の考え方に沿って適宜ピクトグラムを作成することとします。

(ピクトグラムの種類については、巻末の資料 (標準案内用図記号) を参照)
なお、理解度85.0以下のピクトグラムには、文字による説明の併記を行います。

【理解度の高いピクトグラム】



(タクシー)



(レストラン)



(プール・
海水浴場)



(エスカレータ)

※説明を併記は不要

【理解度の低いピクトグラム】



道の駅

説明を併記

誘導機能、表示・説明機能すべてのサインにピクトグラムを配置します。

(7) 英文表記

誘導機能においては、来街者への対応等を考慮して、サインに英文を表記することとします。

◆英訳による表現が一般化している施設は、固有名詞をヘボン式ローマ字、普通名詞を英訳により表記します。

例) 岩井海水浴場 Iwai Beach
 JR千倉駅 JR Chikura Sta.
 高家神社 Takabe-jinja Shrine
 石堂寺 Ishidouji Temple

◆その他の施設は、固有名詞、普通名詞ともにローマ字により表記します。

例) ちくら・潮風王国 Chikura Shiokaze-Oukoku

◆表記スペースに余裕がなく、省略表記ができる普通名詞の場合は省略することができます。

例) 駅 Sta. 学校 Sch. 川 Riv.
 通り Ave. 山 Mt.

なお、長いつづりで読みにくい語は、適宜「- (ハイフン)」を使用して表記することとします。

【参考】ヘボン式ローマ字

a	i	u	e	o	ga	gi	gu	ge	go	kya	kyu	kyo	pya	pyu	pyo
ka	ki	ku	ke	ko	za	ji	zu	ze	zo	sha	shu	sho			
sa	shi	su	se	so	da	ji	zu	de	do	cha	chu	cho			
ta	chi	tsu	te	to	ba	bi	bu	be	bo	nya	nyu	nyo			
na	ni	nu	ne	no	pa	pi	pu	pe	po	hya	hyu	hyo			
ha	hi	hu	he	ho						mya	myu	myo			
ma	mi	mu	me	mo						rya	ryu	ryo			
ya	-	yu	-	yo						gya	gyu	gyo			
ra	ri	ru	re	ro						ja	ju	jo			
wa	-	-	-	n						bya	byu	byo			

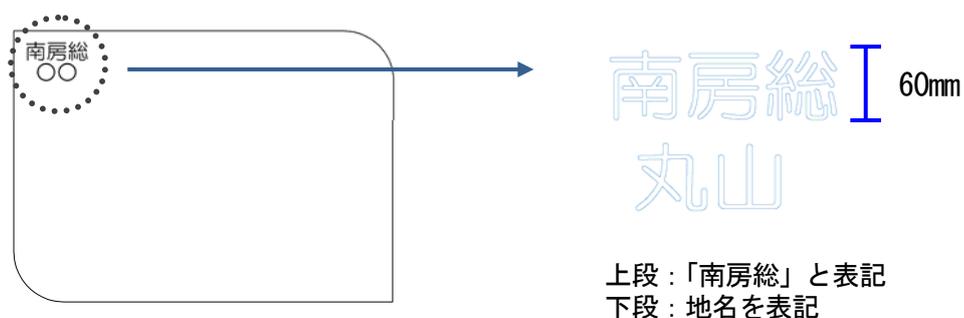
(8) 地名表示

サインが設置されている場所がすぐに理解できるように、サインに地名表示を行います。

来訪者が現在いる場所がどこであるのか理解することができると共に、緊急時等にすぐに位置を確認することができます。

地名は、サインの板面の左上に表記することとし、下段の地名には、「富浦」「富山」「三芳」「白浜」「千倉」「丸山」「和田」のいずれかの地名を表記します。ただし、並列にサインを設置する場合や、同一敷地（エリア）内に複数のサインを設置する場合は、一部のサインについては地名の表記を省略することが出来ます。また、注意喚起サインには、サインの目的・機能、設置場所等を考慮して地名を表記しないこととします。

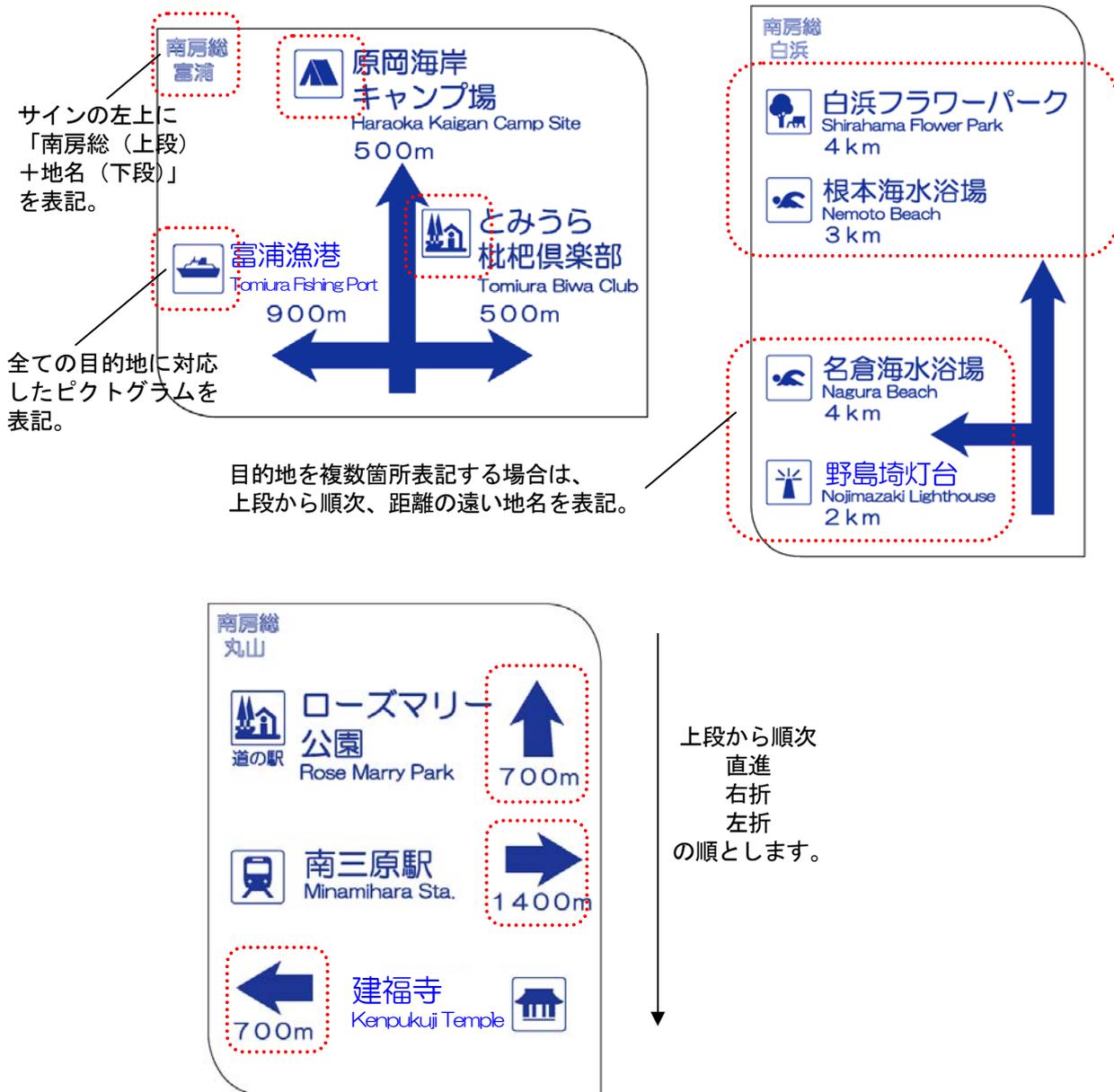
なお、誘導機能の場合は白抜きとします。



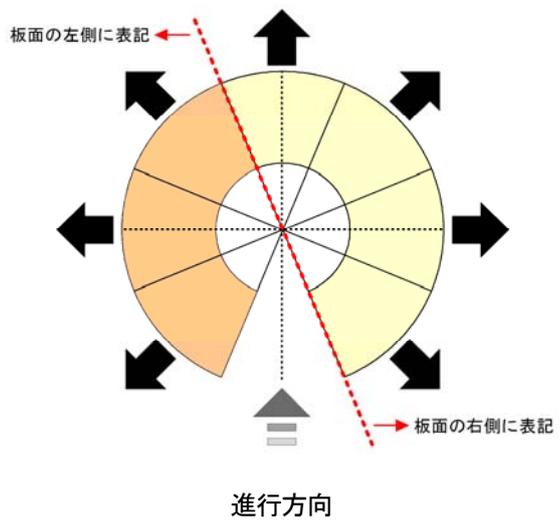
(9) レイアウト

公共サインは、長期にわたり使用されることを前提として、シンプルであり、南房総市のサインであること（地域特性）を表現する形態であると共に、そのレイアウトは、サインの目的を適切に満たすことのできる情報伝達機能を優先することとします。

◆誘導機能

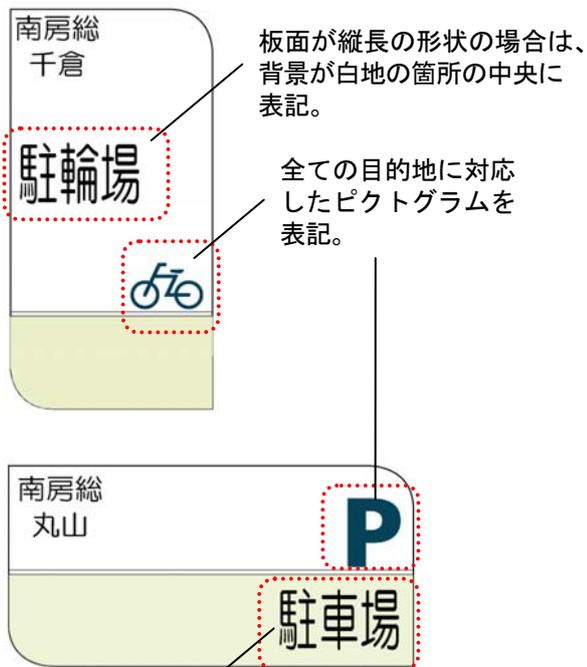


<矢印の表記に関して>



進行方向に対して、7方向のいずれかで矢印表示を行います。

◆表示・説明機能



板面が横長の形状の場合は、背景が色付きの箇所の右端に表記。

(10) 素材・仕上げ

支柱は、ステンレスまたはスチールパイプとします。なお、サインの種類、設置場所に対応して、角パイプまたは丸パイプを適宜選択することとします。

また、支柱の色は、設置場所の現況、景観との調和に配慮して適宜選択することとします。

板面は、サインの種類、設置場所に対応して、以下の通り適宜選択することとします。

- 1) スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム（フッソ樹脂）
- 2) スチールフラッシュの上に耐候性カッティングシート貼り
- 3) アルミ板の上にインクジェット印刷+保護フィルム（フッソ樹脂）
- 4) アルミ板の上に耐候性カッティングシート貼り
- 5) アルミ板の上に高耐久・反射シート（カプセルレンズ型）

尚、使用する板面の素材は、サイン形体により以下の通り選択することとします。

■両面に情報を表示する場合

- ①ボックス型で一体に成形されたサイン：スチールフラッシュ
- ②単面のサインを2面用いて表・裏に設置するサイン：アルミ板

■片面に情報を表示する場合

：アルミ板

（設置状況に応じて、スチールフラッシュを選択することも可）

ただし、表示・説明機能や注意喚起等の特別な情報伝達に関しては以下のとおりとします。

支柱は、設置目的・期間・場所等を考慮して、スチールパイプ、木質系材料、プラスチック系材料等、適宜選択することとします。板面は、設置目的・期間・場所等を考慮して、スチールフラッシュの上に耐候性カッティングシート貼り、木質系材料、プラスチック系材料の上に耐候性カッティングシート貼り、塗装仕上げ等、適宜選択することとします。

なお、簡易タイプの場合は、支柱：木質系材料、プラスチック系材料、板面：木質系材料、プラスチック系材料の上に耐候性カッティングシート貼り、塗装仕上げ等を適宜選択することとします。

3. デザインマニュアル

(1) 誘導機能 A 広域レベル

誘導機能 A 広域レベル 1

＜文字、ピクトグラム、矢印の色＞
(ブルー)

C: 90%
M: 70%
Y: 0%
K: 0%

＜板面の色＞
(ホワイト)

C: 0%
M: 0%
Y: 0%
K: 0%

＜地域名称＞

字体 : HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ : 200pt (65mm)
線種の太さ : 6pt
白抜き

＜ピクトグラム＞

サイズ : 160mm × 160mm

＜板面＞

アルミ板+高耐久・反射シート(カプセルレンズ型)

＜日本語表記＞

字体 : HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ : 280pt (90mm)
線種の太さ : 8pt

＜英語表記＞

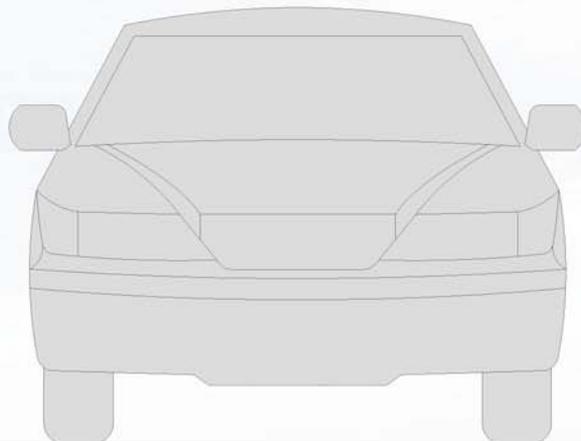
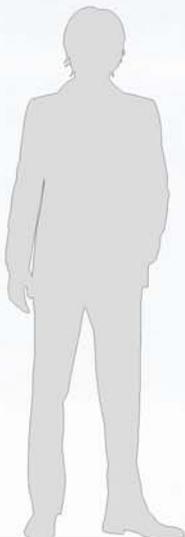
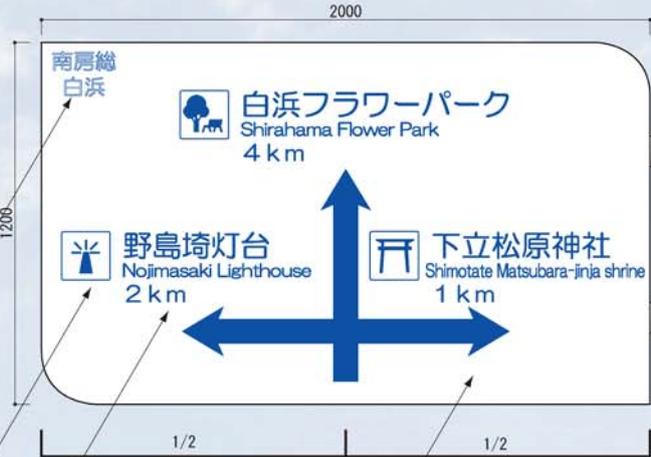
字体 : HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ : 160pt (50mm)
線種の太さ : 7pt

＜距離表記＞

字体 : HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ : 200pt (60mm)
線種の太さ : 8pt

＜支柱＞

ステンレスまたはスチール丸パイプ
(静電粉体塗装)



7000

誘導機能 A 広域レベル 2

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉
(ブルー)

C:90%
M:70%
Y:0%
K:0%

〈板面の色〉
(ホワイト)

C:0%
M:0%
Y:0%
K:0%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :200pt (65mm)
線種の太さ :6pt
白抜き

〈ピクトグラム〉

サイズ :160mm × 160mm

〈支柱〉

ステンレスまたはスチール丸パイプ
(静電粉体塗装)

〈日本語表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :280pt (90mm)
線種の太さ :8pt

〈英語表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :160pt (50mm)
線種の太さ :7pt

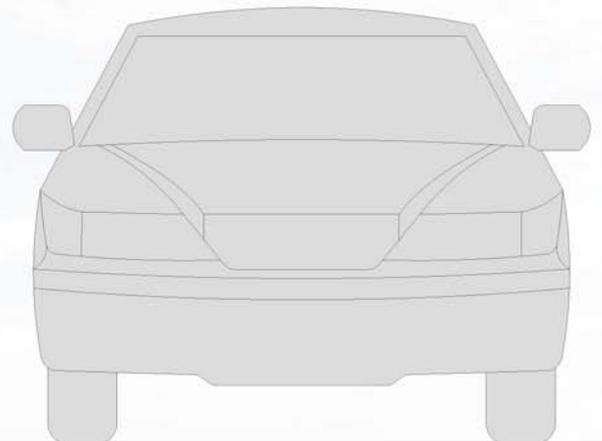
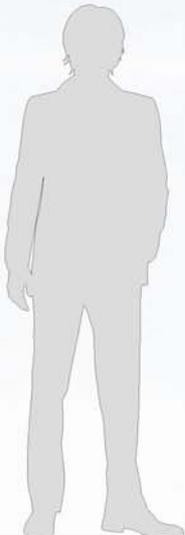
〈距離表記〉

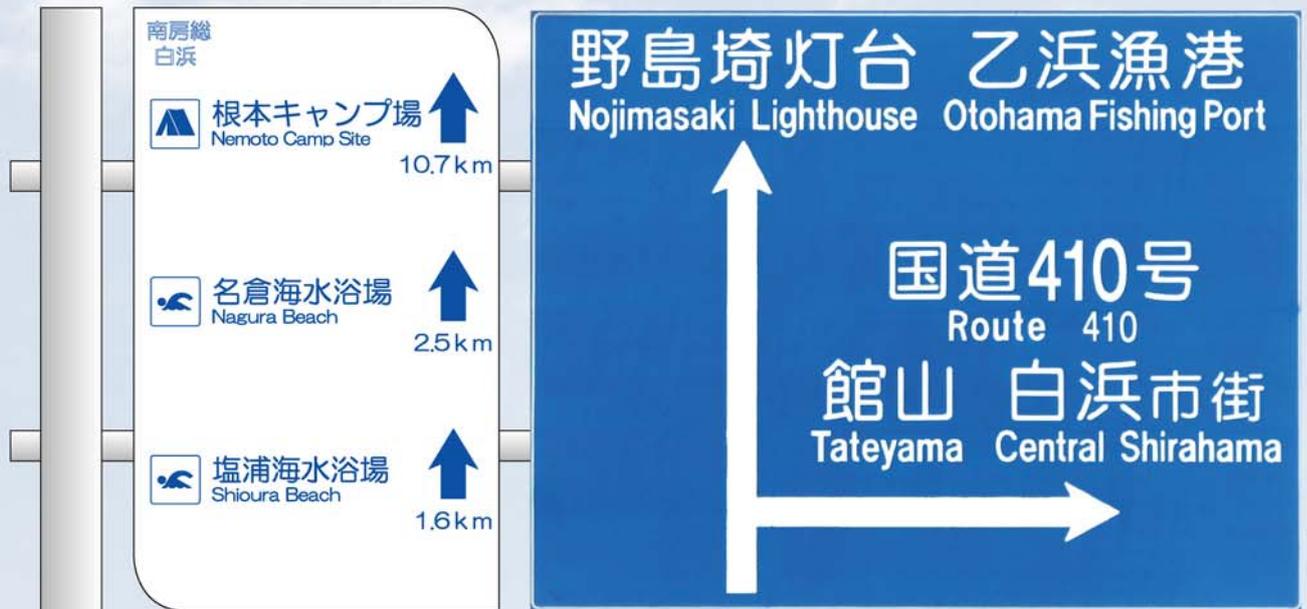
字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :200pt (60mm)
線種の太さ :8pt



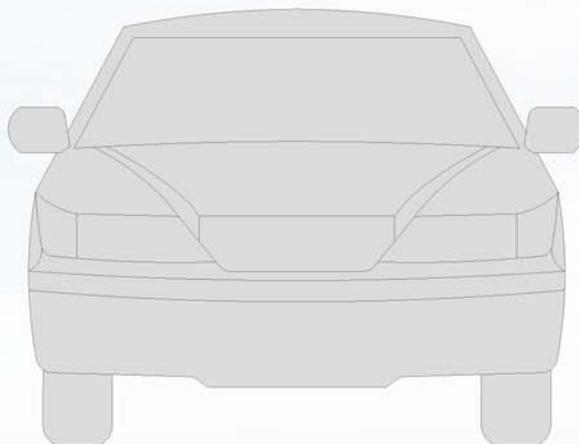
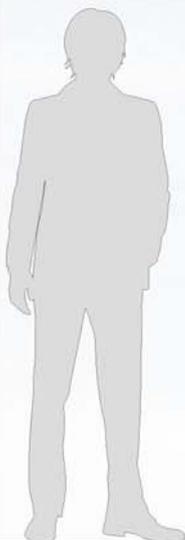
〈板面〉

アルミ板+高耐久・反射シート(カプセルレンズ型)





誘導機能 A 広域レベル 3



(1) 誘導機能 B 地区内レベル

誘導機能 B 地区内レベル 1

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ブルー)

C:90%

M:70%

Y:0%

K:0%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :180pt (60mm)

線種の太さ :6pt

白抜き

〈ピクトグラム〉

サイズ :160mm×160mm

〈日本語表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :280pt (90mm)

線種の太さ :8pt

〈英語表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :160pt (50mm)

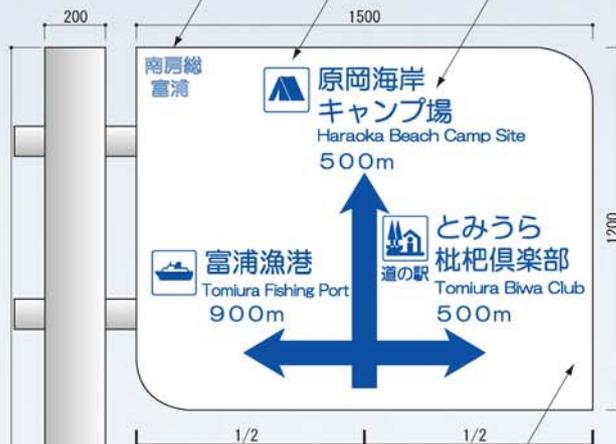
線種の太さ :7pt

〈距離表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :180pt (60mm)

線種の太さ :7pt



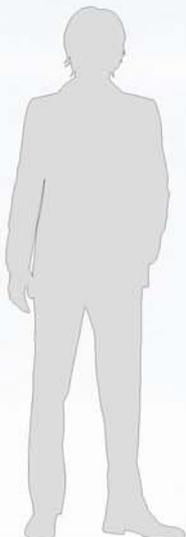
〈板面〉

アルミ板+高耐久・反射シート(カプセルレンズ型)

〈支柱〉

ステンレスまたはスチール丸パイプ

(静電粉体塗装)



4000

誘導機能 B 地区内レベル 2

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ブルー)

C:90%

M:70%

Y:0%

K:0%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :180pt (60mm)

線種の太さ :6pt

白抜き

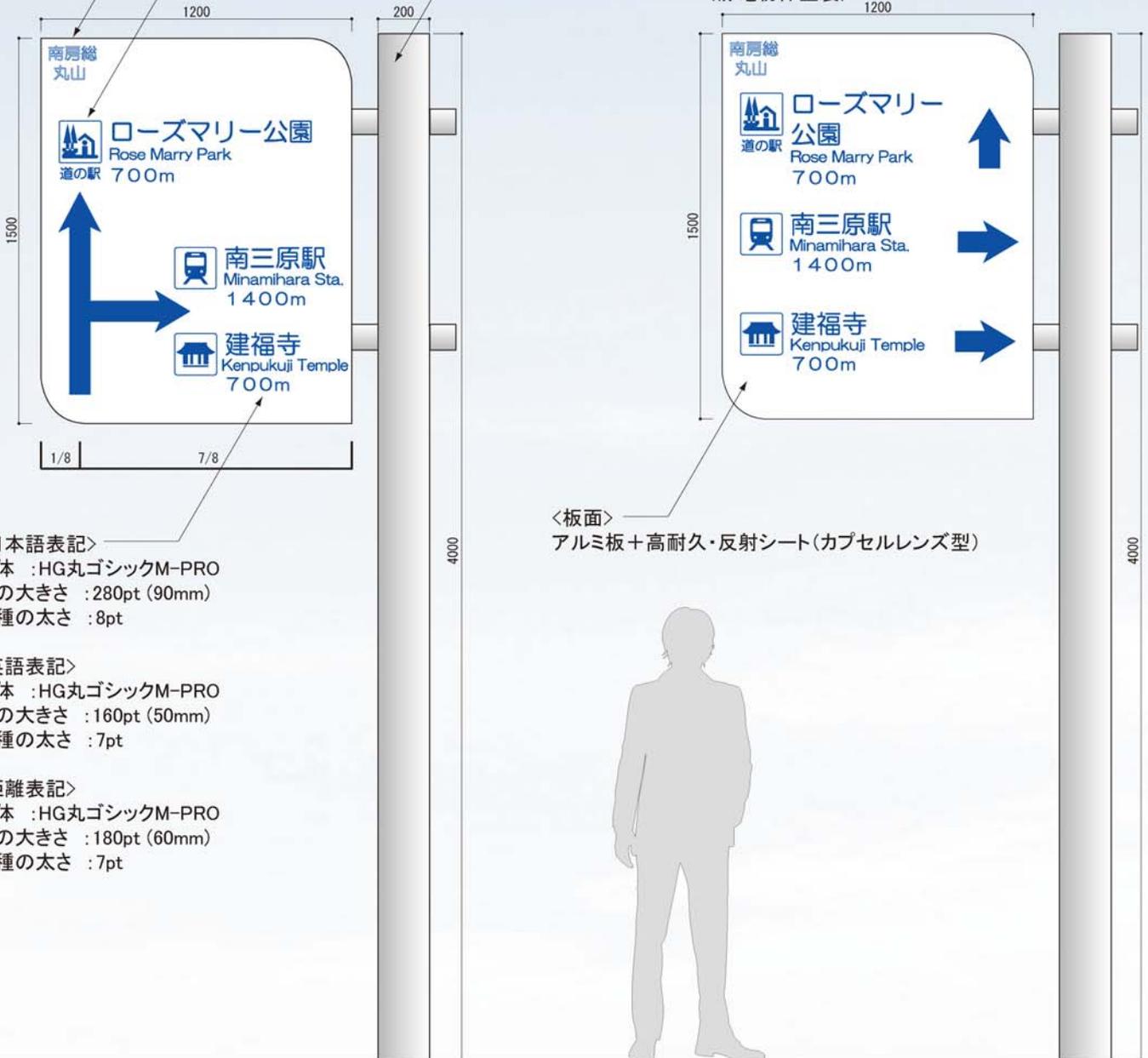
〈ピクトグラム〉

サイズ :160mm×160mm

〈支柱〉

ステンレスまたはスチール丸パイプ

(静電粉体塗装)



〈日本語表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :280pt (90mm)

線種の太さ :8pt

〈英語表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :160pt (50mm)

線種の太さ :7pt

〈距離表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :180pt (60mm)

線種の太さ :7pt

〈板面〉

アルミ板+高耐久・反射シート(カプセルレンズ型)

(1) 誘導機能 C 近隣空間内レベル

誘導機能 C 近隣空間内レベル 1

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ブルー)

C: 90%

M: 70%

Y: 0%

K: 0%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C: 0%

M: 0%

Y: 0%

K: 0%

〈地域名称〉

字体 : HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ : 130pt (40mm)

線種の太さ : 4pt

白抜き

〈ピクトグラム〉

サイズ : 110mm × 110mm

〈日本語表記〉

字体 : HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ : 180pt (60mm)

線種の太さ : 5pt

〈英語表記〉

字体 : HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ : 110pt (30mm)

線種の太さ : 4pt

〈距離表記〉

字体 : HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ : 125pt (35mm)

線種の太さ : 4pt

〈板面〉

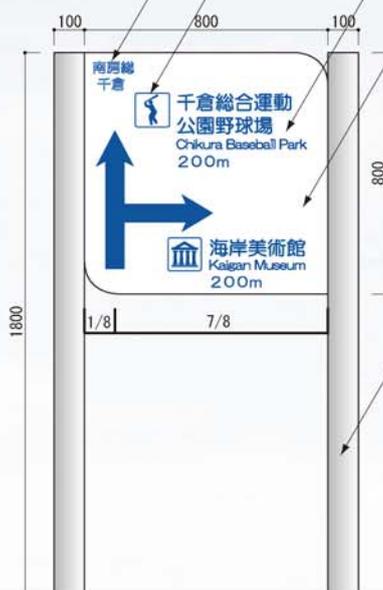
両面の場面 : スチールフラッシュの上にインクジェット印刷 + 保護フィルム (フッ素樹脂)

片面の場面 : アルミの上にインクジェット印刷 + 保護フィルム (フッ素樹脂)

〈支柱〉

ステンレスまたはスチール丸パイプ

(静電粉体塗装)



誘導機能 C 近隣空間内レベル2 (文化財)

参考資料：マニュアル規定外

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ブルー)

C: 90%

M: 70%

Y: 0%

K: 0%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C: 0%

M: 0%

Y: 0%

K: 0%

〈地域名称〉

字体：HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ：130pt (40mm)

線種の太さ：4pt

白抜き

〈ピクトグラム〉

サイズ：110mm×110mm

「文化財」のピクトグラムは、文化財愛護シンボルマーク（文化庁）を使用する

〈日本語表記〉

字体：HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ：180pt (60mm)

線種の太さ：5pt

〈英語表記〉

字体：HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ：110pt (30mm)

線種の太さ：4pt

〈距離表記〉

字体：HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ：125pt (35mm)

線種の太さ：4pt

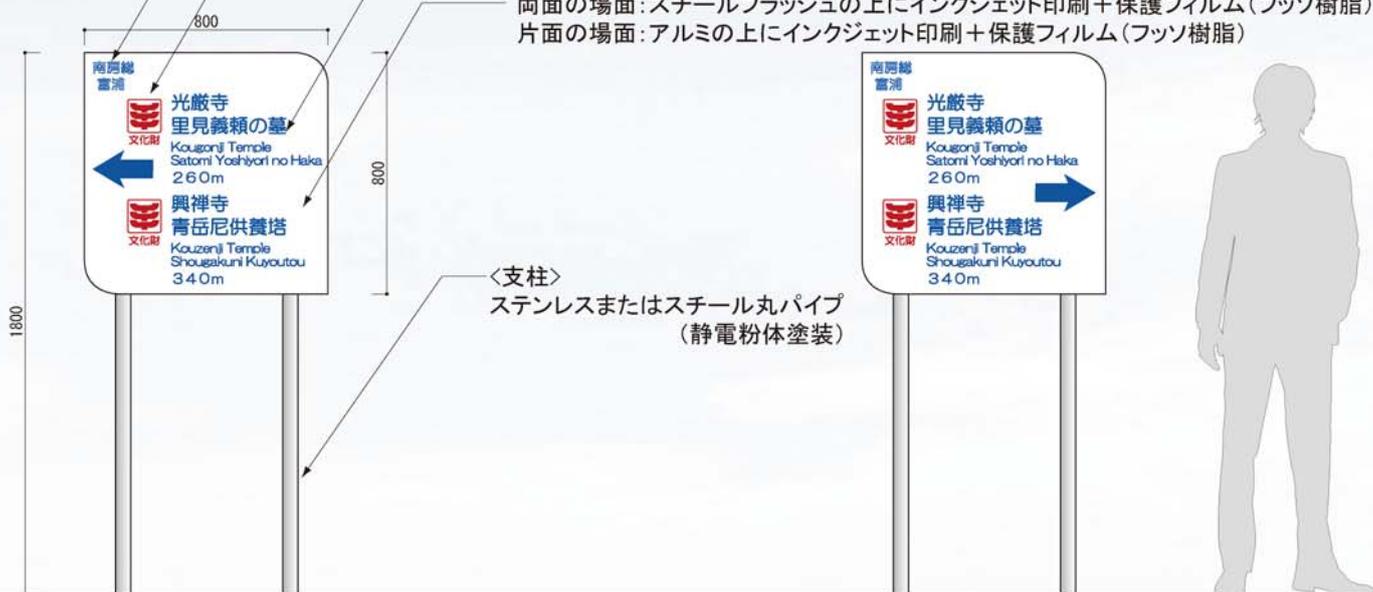
〈板面〉

両面の場面：スチールフラッシュの上にインクジェット印刷＋保護フィルム（フッ素樹脂）

片面の場面：アルミの上にインクジェット印刷＋保護フィルム（フッ素樹脂）

〈支柱〉

ステンレスまたはスチール丸パイプ
(静電粉体塗装)



(1) 誘導機能 D 個別レベル

誘導機能 D 個別レベル 1

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ブルー)

C:90%

M:70%

Y:0%

K:0%

〈板面の色〉

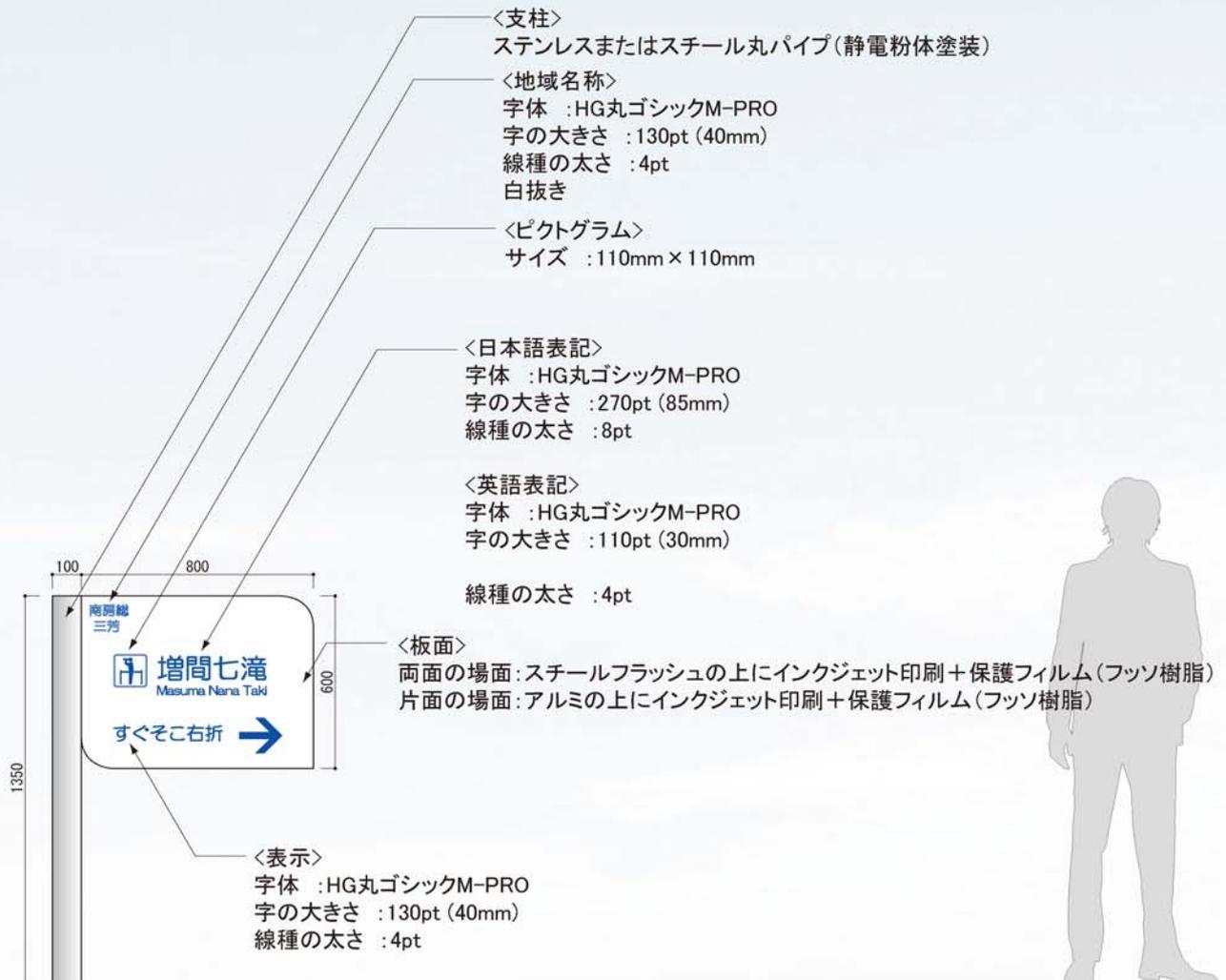
(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%



誘導機能 D 個別レベル 2(道の駅)

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(イエロー)

C:5%

M:5%

Y:80%

K:0%

〈板面の色〉

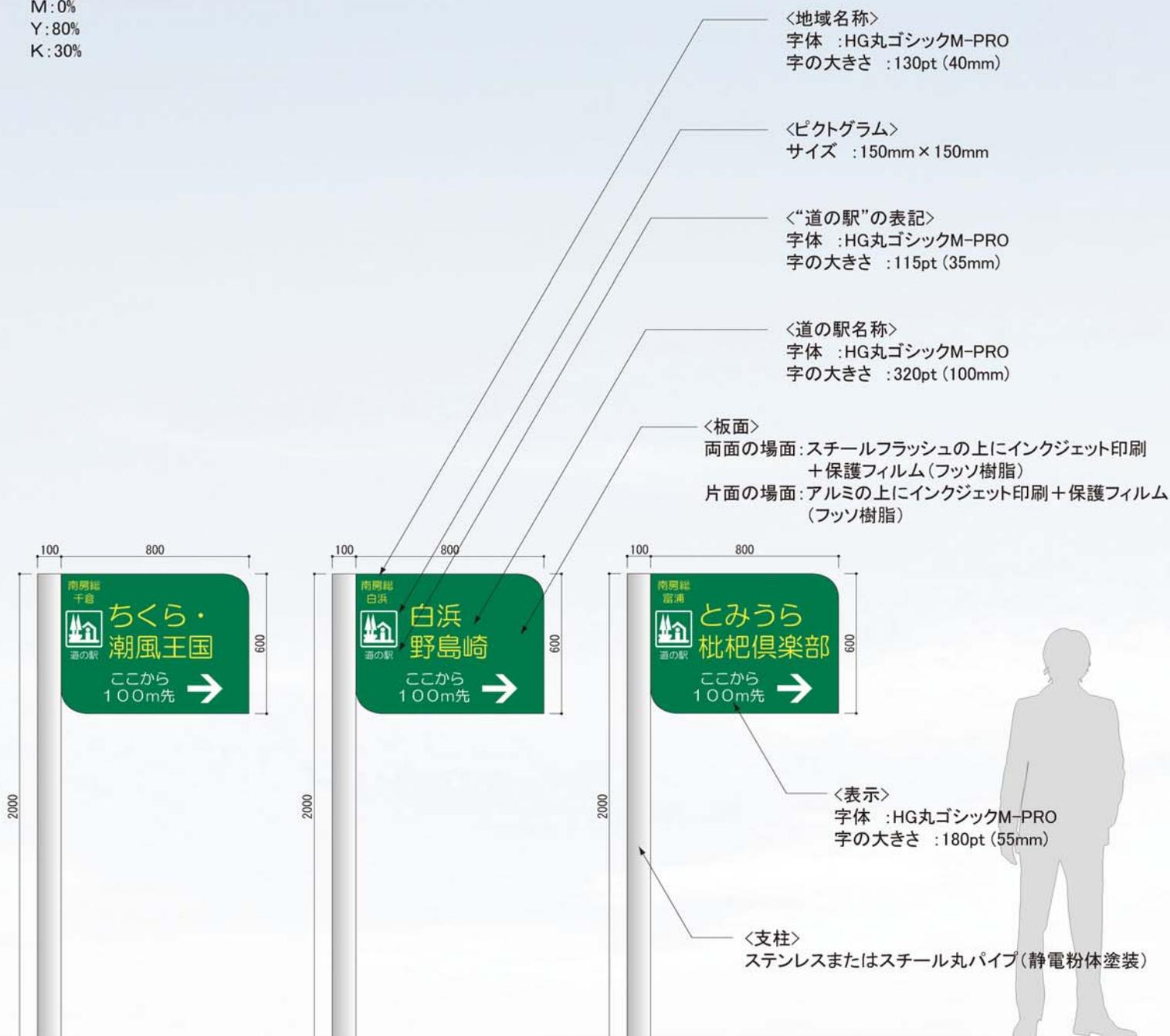
(グリーン)

C:100%

M:0%

Y:80%

K:30%



誘導機能 D 個別レベル 3(道の駅)

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(イエロー)

C:5%

M:5%

Y:80%

K:0%

〈板面の色〉

(グリーン)

C:100%

M:0%

Y:80%

K:30%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :130pt (40mm)

〈ピクトグラム〉

サイズ :150mm×150mm

〈“道の駅”の表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :115pt (35mm)

〈道の駅名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :320pt (100mm)

〈板面〉

両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷
+保護フィルム(フッ素樹脂)

片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム
(フッ素樹脂)



(2) 表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示

表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 1

〈文字の色〉

(ブラック)

C:100%

M:100%

Y:100%

K:100%

〈ピクトグラムの色〉

(ネイビー)

C:100%

M:85%

Y:50%

K:35%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(パステルグリーン)

C:25%

M:0%

Y:55%

K:0%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :170pt (55mm)

〈板面〉

両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

〈ピクトグラム〉

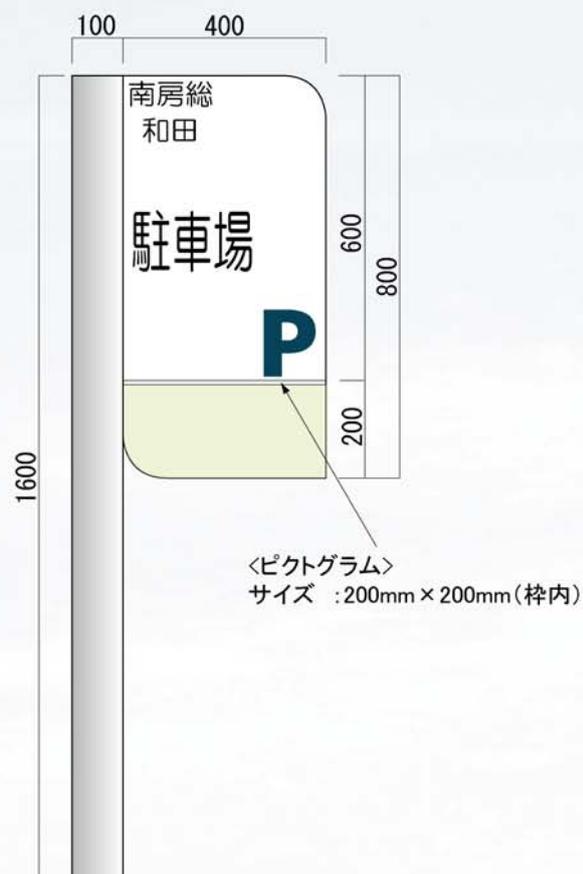
サイズ :200mm×200mm(枠内)

〈名称表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :390pt (125mm)

横幅 :60%



表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 2

<文字の色>
(ブラック)

C:100%
M:100%
Y:100%
K:100%

<ピクトグラムの色>
(ネイビー)

C:100%
M:85%
Y:50%
K:35%

<板面の色>
(ホワイト)

C:0%
M:0%
Y:0%
K:0%

(パステルグリーン)

C:25%
M:0%
Y:55%
K:0%

<地域名称>

字体：HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ：170pt (55mm)

<名称表記>

字体：HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ：500pt (170mm)
横幅：60%

<ピクトグラム>

サイズ：170mm×170mm



<免責事項表記>

字体：HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ：90pt (30mm)

<板面>

両面の場合：スチールフラッシュの上に
インクジェット印刷+保護
フィルム (フッ素樹脂)

片面の場合：アルミの上にインクジェット
印刷+保護フィルム
(フッ素樹脂)

<支柱>

ステンレスまたはスチール角パイプ

表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 3

〈文字の色〉

(ブラック)

C:100%

M:100%

Y:100%

K:100%

〈ピクトグラムの色〉

(ネイビー)

C:100%

M:85%

Y:50%

K:35%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(パステルグリーン)

C:25%

M:0%

Y:55%

K:0%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :170pt (55mm)

〈版面〉

両面の場面 :スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

片面の場面 :アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

〈ピクトグラム〉

サイズ :200mm×200mm(枠内)

〈名称表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :390pt (125mm)

横幅 :60%



表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 4

<文字の色>

(ブラック)

C:100%

M:100%

Y:100%

K:100%

<ピクトグラムの色>

(ネイビー)

C:100%

M:85%

Y:50%

K:35%

<板面の色>

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(パステルグリーン)

C:25%

M:0%

Y:55%

K:0%

<地域名称>

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :170pt (55mm)

<板面>

両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

<ピクトグラム>

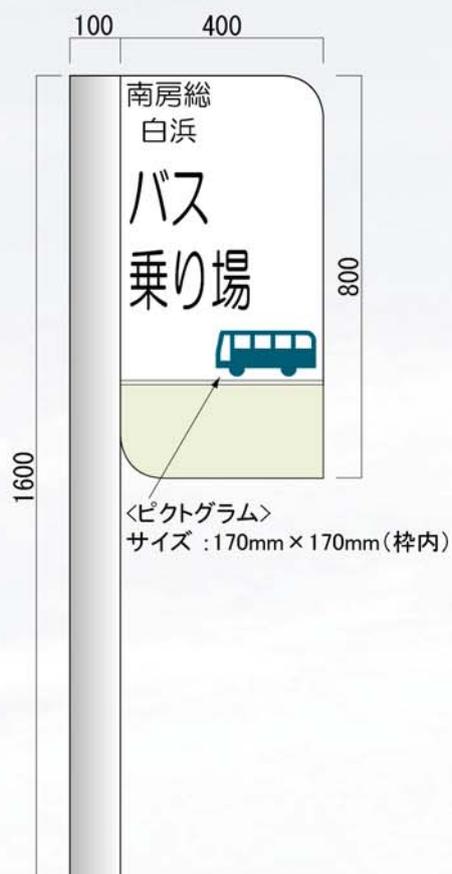
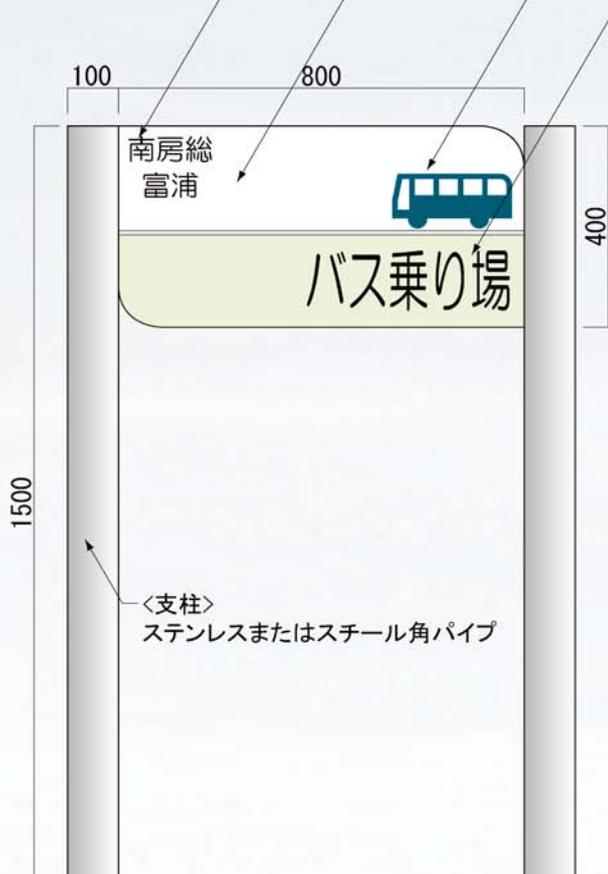
サイズ :200mm×200mm(枠内)

<名称表記>

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :390pt (125mm)

横幅 :60%



表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 5

〈文字の色〉

(ブラック)

C:100%

M:100%

Y:100%

K:100%

〈ピクトグラムの色〉

(ネイビー)

C:100%

M:85%

Y:50%

K:35%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

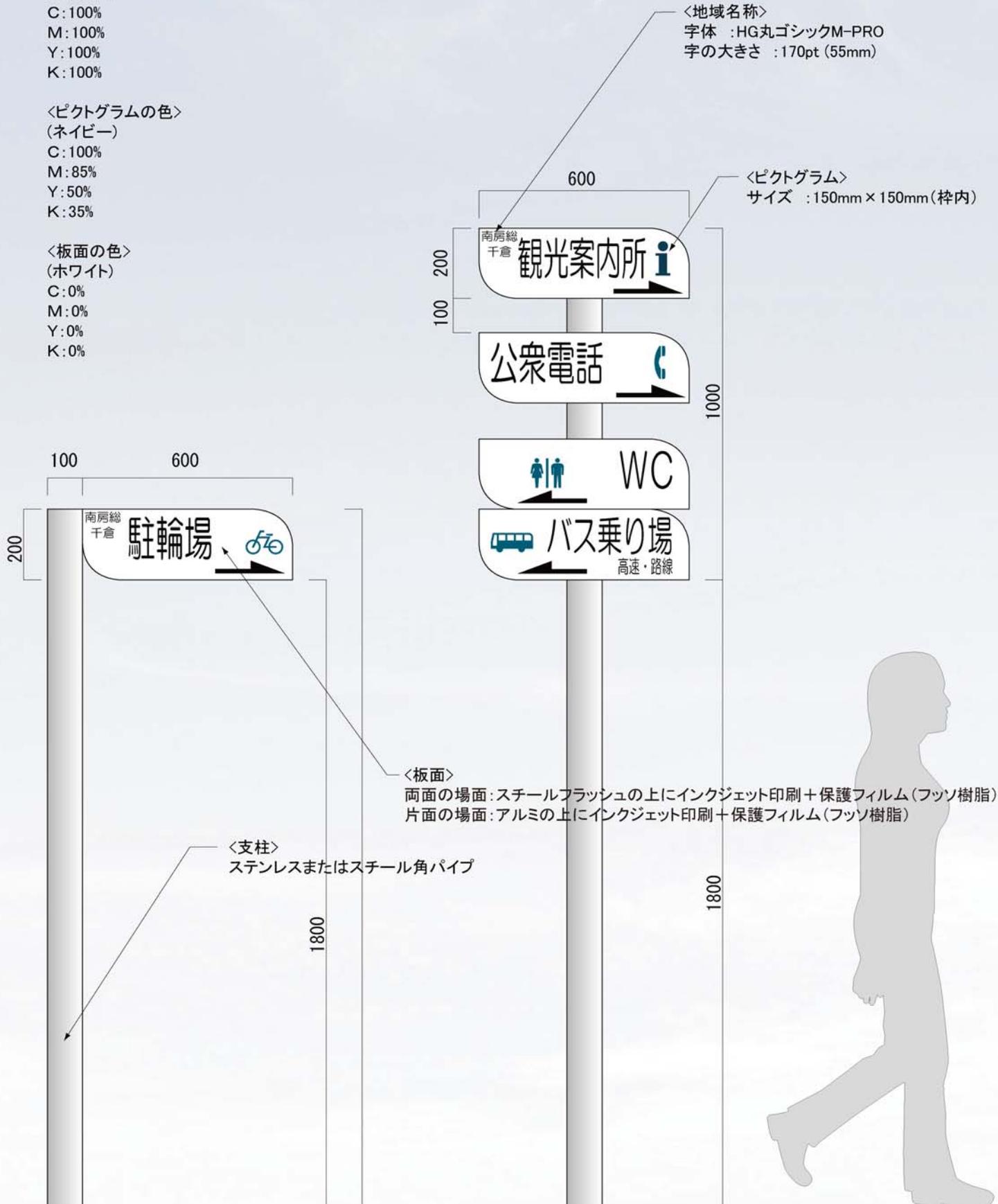
〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :170pt (55mm)

〈ピクトグラム〉

サイズ :150mm × 150mm (枠内)



表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 6(道の駅)

〈文字、ピクトグラム、矢印の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(イエロー)

C:5%

M:5%

Y:80%

K:0%

〈板面の色〉

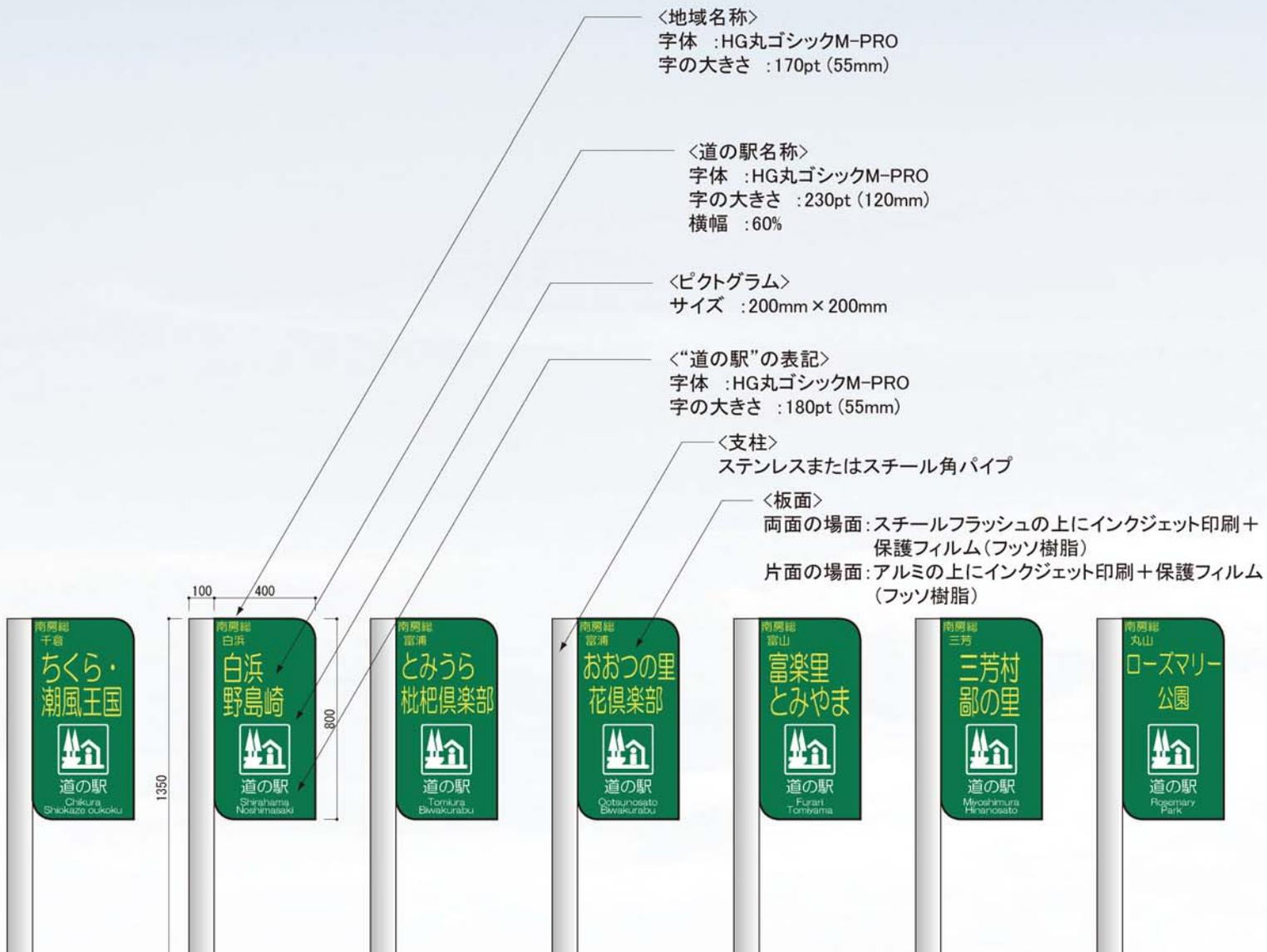
(グリーン)

C:100%

M:0%

Y:80%

K:30%



(2) 表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達

表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 1



小さな湾上の開けた海水浴場で、波が穏やかな第1ビーチとサーフィンが出来る第2ビーチの2つに分かれており、家族連れがのんびりするには最適なビーチ。岩場にはカニやヤドカリが姿を見せ磯遊びを楽しめます。

海水浴情報はこちらから→



＜QRコード＞

＜地域名称＞
 字体：HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ：170pt (55mm)

＜板面＞
 両面の場面：スチールフラッシュの上にインクジェット印刷＋保護フィルム（フツソ樹脂）
 片面の場面：アルミの上にインクジェット印刷＋保護フィルム（フツソ樹脂）

＜名称表記＞
 字体：HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ：390pt (125mm)
 横幅：60%

＜説明表記＞
 字体：HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ：60pt (20mm)
 文字数制限：100文字

＜ピクトグラム＞
 サイズ：200mm × 200mm (枠内)

＜地図＞
 大きさ：300mm × 300mm

＜QRコード＞
 大きさ：30mm × 30mm
 説明表記の字の大きさ：60pt (20mm)

＜施設イメージ写真＞
 大きさ：570mm × 430mm

＜支柱＞
 ステンレスまたはスチール角パイプ

＜文字の色＞
 (ブラック)
 C:100%
 M:100%
 Y:100%
 K:100%

＜ピクトグラムの色＞
 (ネイビー)
 C:100%
 M:85%
 Y:50%
 K:35%

＜板面の色＞
 (ホワイト)
 C:0%
 M:0%
 Y:0%
 K:0%
 (パステルブルー)
 C:20%
 M:0%
 Y:0%
 K:0%



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 2

〈文字の色〉
(ブラック)
C:100%
M:100%
Y:100%
K:100%

〈ピクトグラムの色〉
(ネイビー)
C:100%
M:85%
Y:50%
K:35%

〈板面の色〉
(ホワイト)
C:0%
M:0%
Y:0%
K:0%
(パステルブルー)
C:20%
M:0%
Y:0%
K:0%

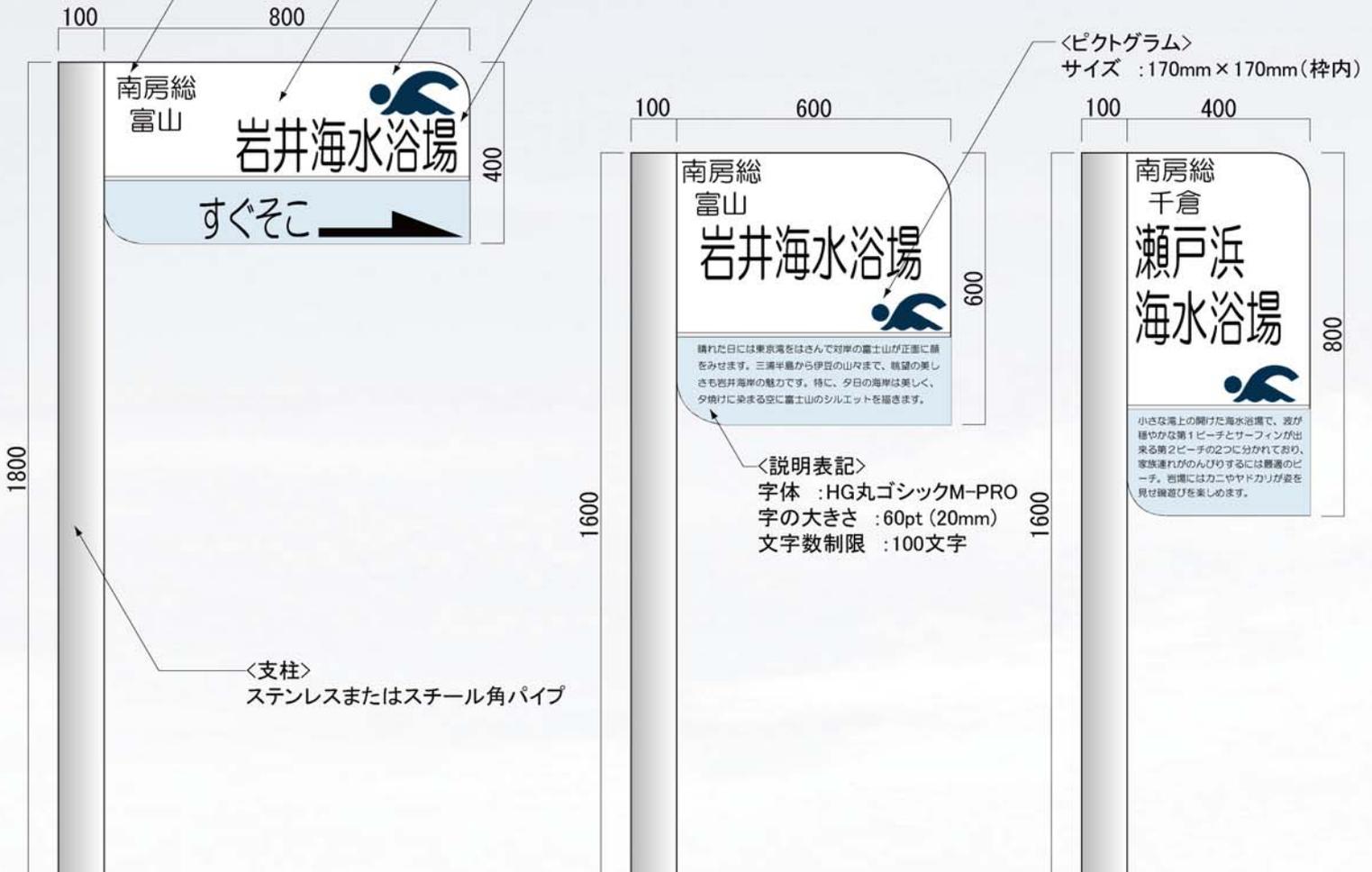
〈地域名称〉
字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :170pt (55mm)

〈板面〉
両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッソ樹脂)
片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッソ樹脂)

〈ピクトグラム〉
サイズ :200mm×200mm(枠内)

〈名称表記〉
字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :390pt (125mm)
横幅 :60%

〈ピクトグラム〉
サイズ :170mm×170mm(枠内)



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 3

〈文字の色〉
(ブラック)
C:100%
M:100%
Y:100%
K:100%

〈ピクトグラムの色〉
(ネイビー)
C:100%
M:85%
Y:50%
K:35%

〈板面の色〉
(ホワイト)
C:0%
M:0%
Y:0%
K:0%
(パステルグリーン)
C:25%
M:0%
Y:55%
K:0%

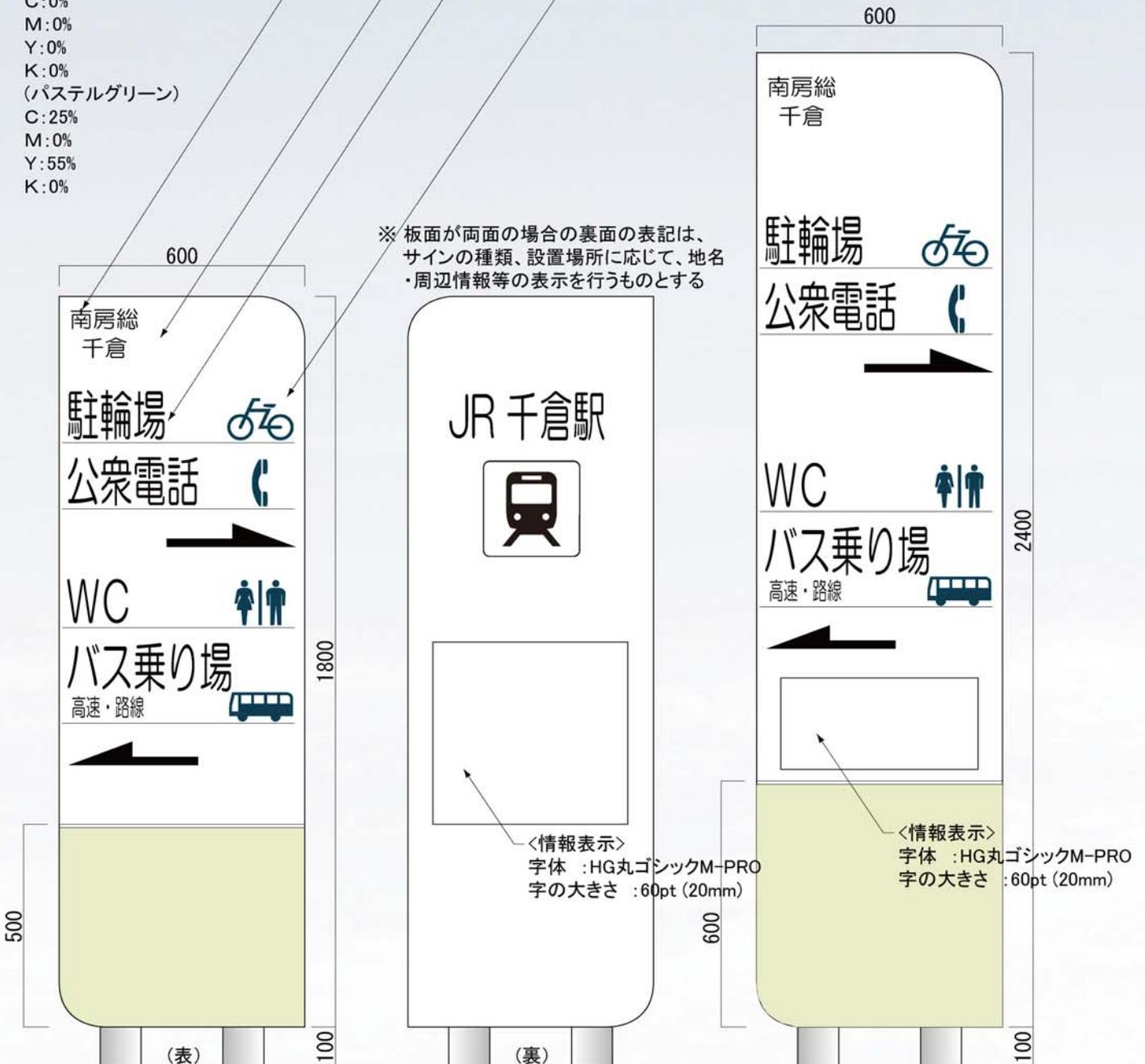
〈地域名称〉
字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :170pt (55mm)

〈板面〉
両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+
保護フィルム(フッ素樹脂)
片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム
(フッ素樹脂)

〈名称表記〉
字体 :HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ :390pt (125mm)
横幅 :60%

〈ピクトグラム〉
サイズ :170mm×170mm(枠内)

※板面が両面の場合の裏面の表記は、
サインの種類、設置場所に応じて、地名
・周辺情報等の表示を行うものとする



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 4

＜文字の色＞
 (ブラック)
 C:100%
 M:100%
 Y:100%
 K:100%

＜ピクトグラムの色＞
 (ネイビー)
 C:100%
 M:85%
 Y:50%
 K:35%

＜板面の色＞
 (ホワイト)
 C:0%
 M:0%
 Y:0%
 K:0%
 (パステルブルー)
 C:20%
 M:0%
 Y:0%
 K:0%

＜地域名称＞
 字体 :HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ :170pt (55mm)

＜板面＞
 両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+
 保護フィルム(フッ素樹脂)
 片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム
 (フッ素樹脂)

＜名称表記＞
 字体 :HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ :390pt (125mm)
 横幅 :60%

＜ピクトグラム＞
 サイズ :170mm×170mm(枠内)

＜地図＞
 大きさ :540mm×720mm

＜説明表記＞
 字体 :HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ :60pt (20mm)
 文字数制限 :125文字



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 5

＜文字の色＞
 (ブラック)
 C:100%
 M:100%
 Y:100%
 K:100%

＜ピクトグラムの色＞
 (ネイビー)
 C:100%
 M:85%
 Y:50%
 K:35%

＜板面の色＞
 (ホワイト)
 C:0%
 M:0%
 Y:0%
 K:0%
 (パステルブルー)
 C:20%
 M:0%
 Y:0%
 K:0%

＜地域名称＞
 字体 :HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ :170pt (55mm)

＜板面＞
 両面の場面:スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+
 保護フィルム(フッ素樹脂)
 片面の場面:アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム
 (フッ素樹脂)

＜名称表記＞
 字体 :HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ :390pt (125mm)
 横幅 :60%

＜ピクトグラム＞
 サイズ :170mm×170mm(枠内)

＜地図＞
 大きさ :540mm×720mm

＜説明表記＞
 字体 :HG丸ゴシックM-PRO
 字の大きさ :60pt (20mm)
 文字数制限 :125文字



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 7 (観光案内)

〈文字の色〉

(ブラック)

C:100%

M:100%

Y:100%

K:100%

〈ピクトグラムの色〉

(ネイビー)

C:100%

M:85%

Y:50%

K:35%

〈板面の色〉

(ホワイト)

C:0%

M:0%

Y:0%

K:0%

(パステルグリーン)

C:25%

M:0%

Y:55%

K:0%

〈地域名称〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :170pt (55mm)

〈版面〉

両面の場面 :スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

片面の場面 :アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッ素樹脂)

〈名称表記〉

字体 :HG丸ゴシックM-PRO

字の大きさ :390pt (125mm)

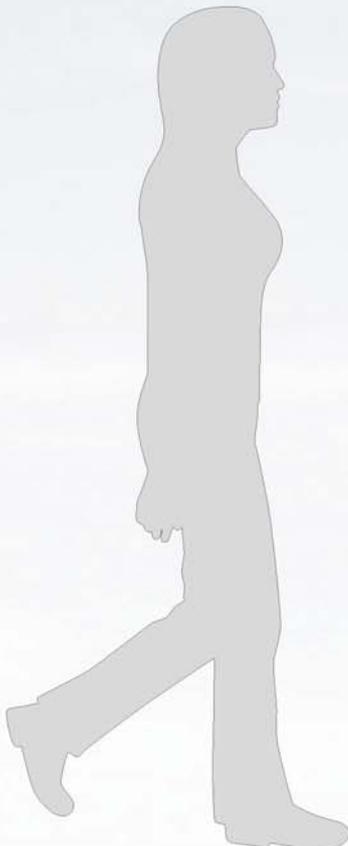
横幅 :60%

〈地図〉

大きさ :1100mm×710mm

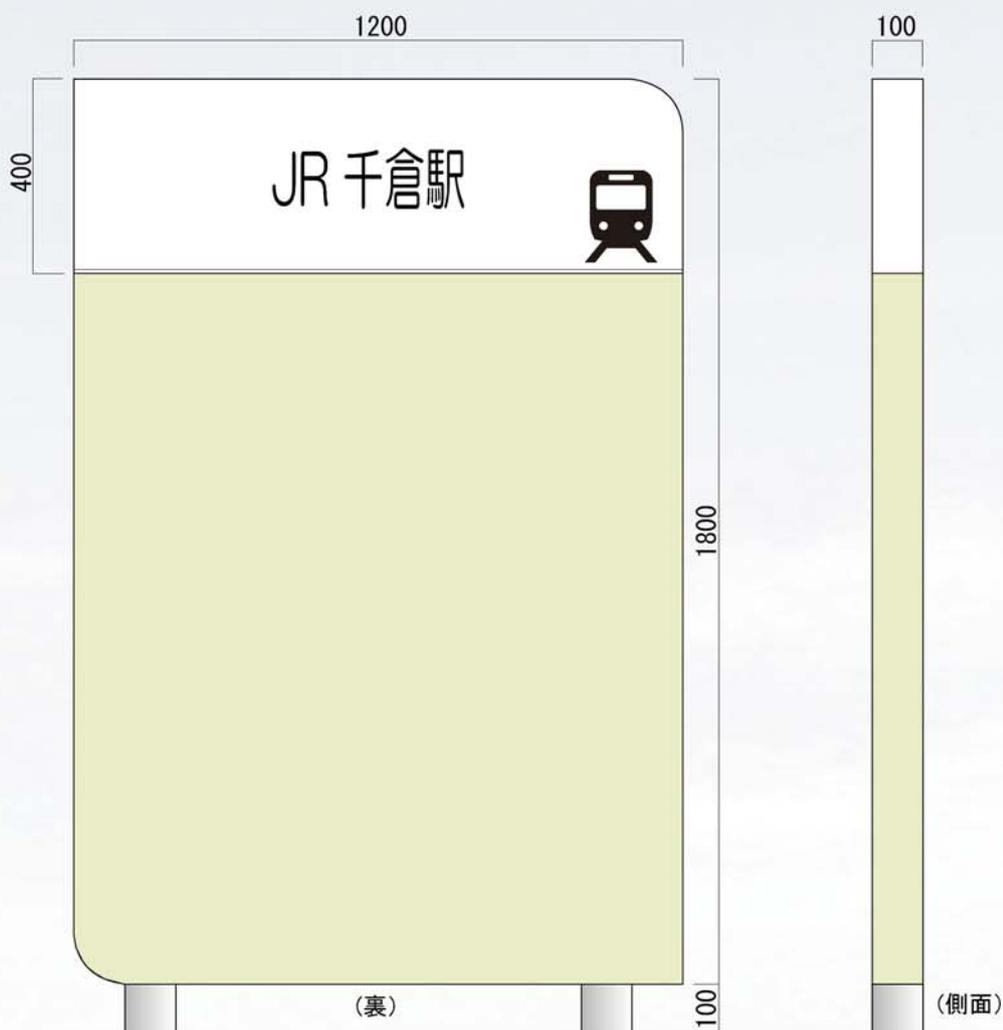
〈ピクトグラム〉

サイズ :200mm×200mm(枠内)



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 7 (観光案内)

※ 板面が両面の場合の裏面の表記は、
サインの種類、設置場所に応じて、地名
・周辺情報等の表示を行うものとする



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 8 (バス情報)

〈文字の色〉
(ブラック)
C: 100%
M: 100%
Y: 100%
K: 100%

〈ピクトグラムの色〉
(ネイビー)
C: 100%
M: 85%
Y: 50%
K: 35%

〈板面の色〉
(ホワイト)
C: 0%
M: 0%
Y: 0%
K: 0%
(パステルグリーン)
C: 25%
M: 0%
Y: 55%
K: 0%

〈板面〉

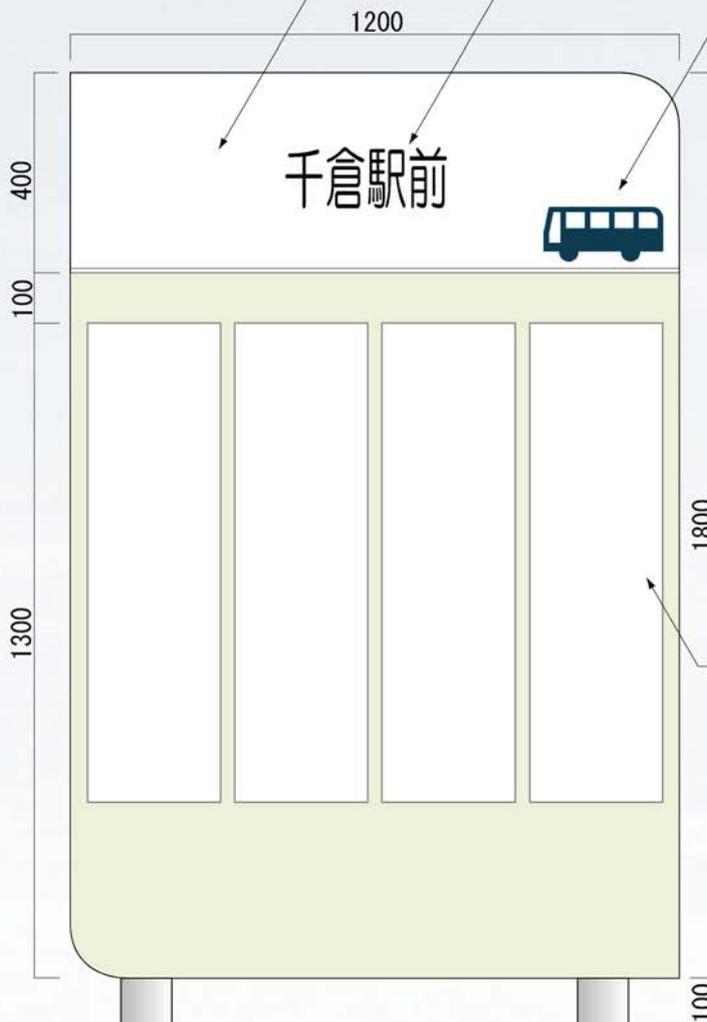
両面の場面: スチールフラッシュの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッソ樹脂)
片面の場面: アルミの上にインクジェット印刷+保護フィルム(フッソ樹脂)

〈名称表記〉

字体 : HG丸ゴシックM-PRO
字の大きさ : 390pt (125mm)
横幅 : 60%

〈ピクトグラム〉

サイズ : 200mm × 200mm (枠内)

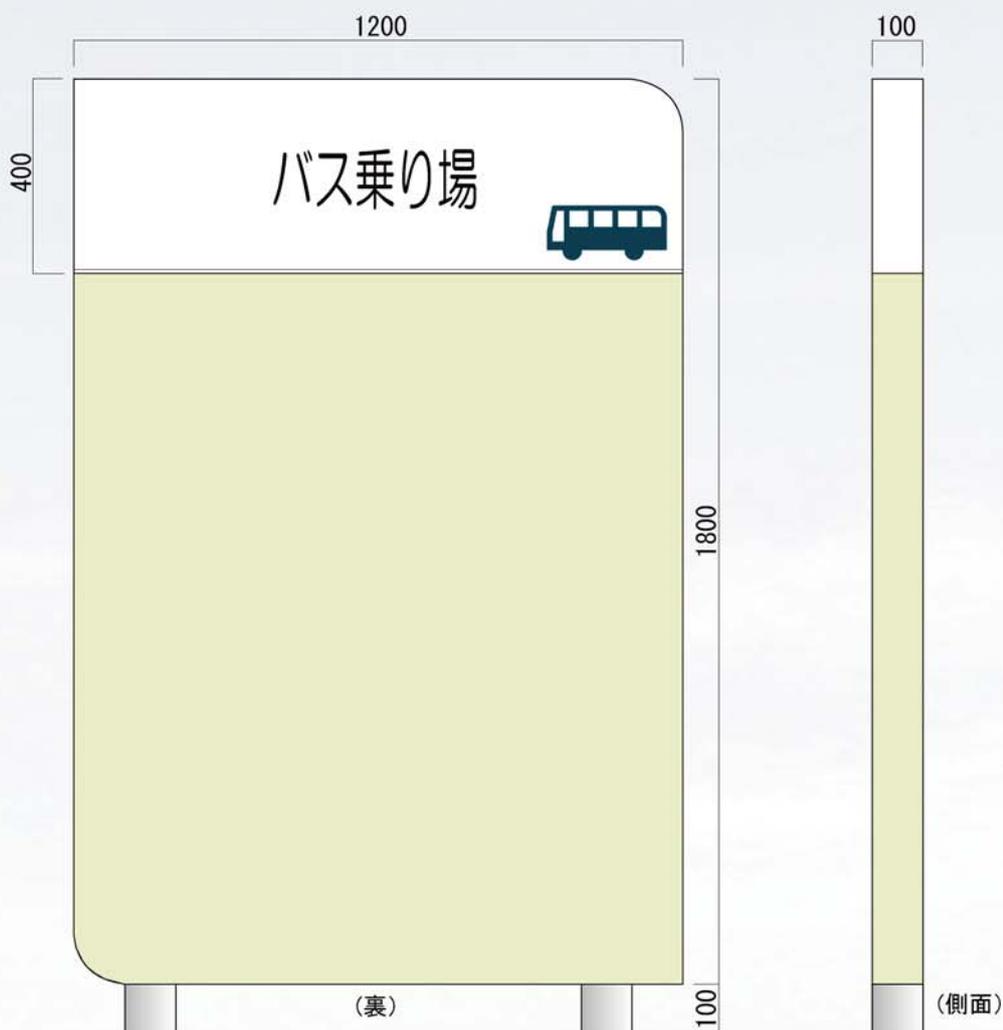


〈情報表示〉

時刻表記、路線図、情報等

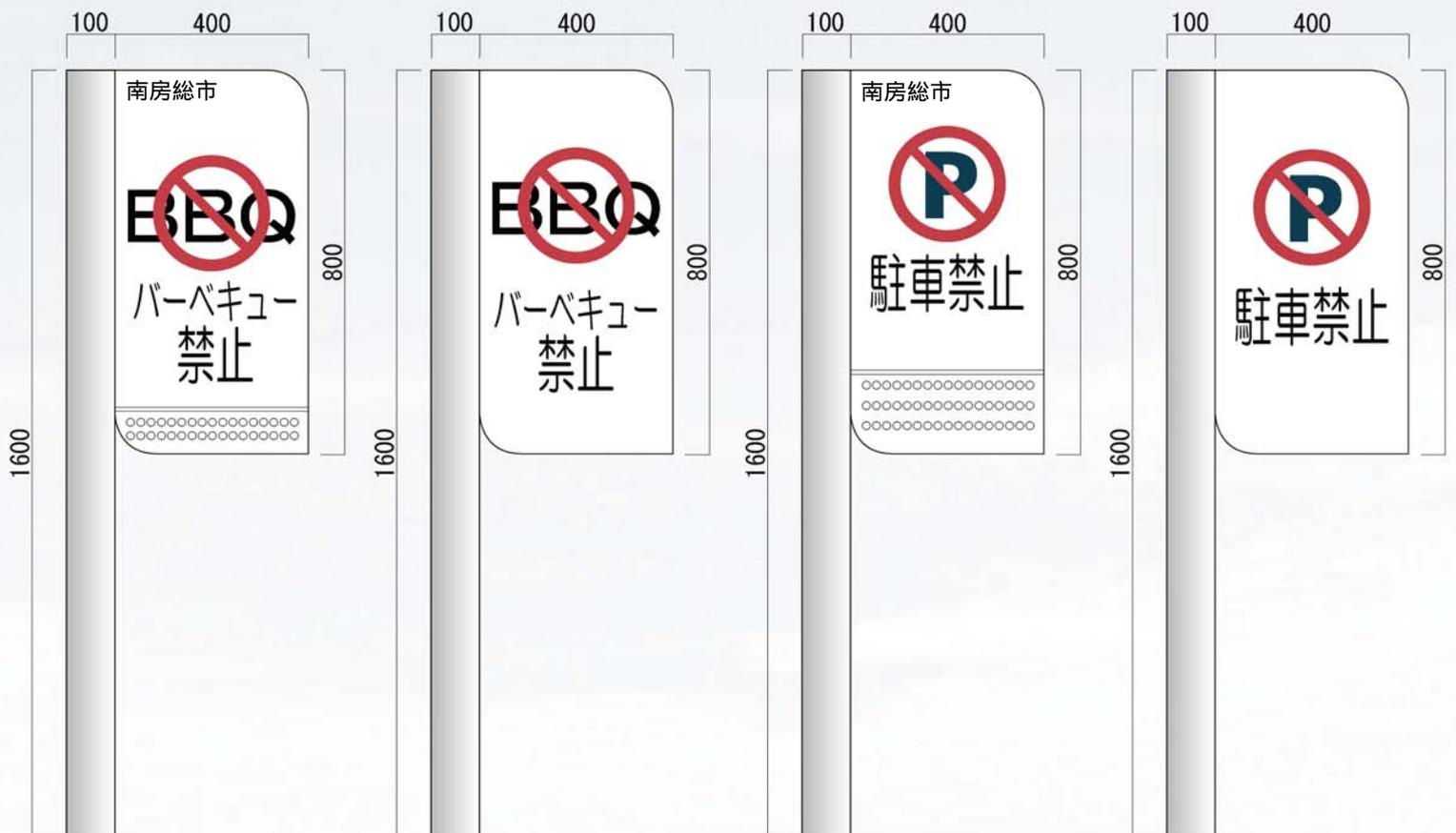
表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 8 (バス情報)

※ 板面が両面の場合の裏面の表記は、
サインの種類、設置場所に応じて、地名
・周辺情報等の表示を行うものとする



(2) 表示・説明機能 G 注意喚起

表示・説明機能 G 注意喚起 2



4. デザインマニュアルの使用方法

(1) 既存サインへの対応

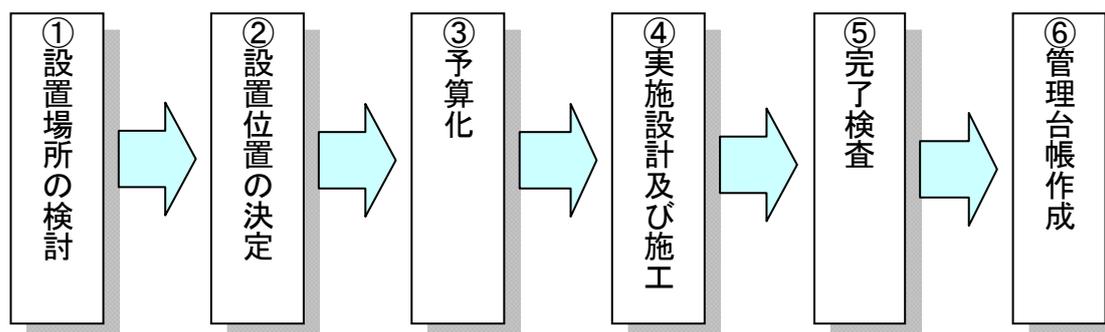
■使用できるサイン

合併前から設置されているサインについては、現在も数多く残っていることから、平成20年7月に全庁的にサイン現況調査を行いました。その結果、約3500基のサインが市内に設置されており、なかには旧町村名が現在も記載されています。これらをそのまま設置していることは合併したことによる地域の一体感の醸成には結びつきません。そこで、既存サインのうち、今後も使用できるものは「南房総市」と表示した市名ステッカーを貼ることにより各所管課により適宜、更新作業を行うものとします。また、既存サインの改善等を行い、公共サインの統一化をすすめていきます。

■老朽化したサイン

老朽化したサインが、そのまま放置してあると景観を著しく損ねます。また、環境・観光都市を目標に掲げる本市にとっては改善が求められています。老朽化したサインには、各所管課において確認作業を行い、必要に応じて適宜撤去するものとします。

(2) 新規サインの整備手順



①設置場所の検討

本マニュアルで示した体系化・階層システムに基づき、わかりやすさと周囲の景観との調和に配慮したサインの設置場所を検討します。

②設置位置の決定

わかりやすい位置、じゃまにならない場所など設置位置の決定を行います。また、周辺における他の公共サインの設置状況等から表示内容を検討し、サインの種類を決定します。

③予算化

サインの種類により、各所管課において計画的に予算化します。

④実施設計及び施工

サインの種類に従い、本デザインマニュアルで示した基本カラー、書体、板面の形状、ピクトグラム、英文標記、地名表示、レイアウト、素材・仕上げを取り込んだ実施設計を行います。仕様がマニュアルに適合しているか「(仮称) 庁内公共サイン委員会」により確認を受けた上、工事を施工します。

⑤完了検査

工事施行後すみやかに完了検査を実施します。

⑥管理台帳作成

各所管課において、巻末の様式に従い台帳を作成します。

⑦管理

各所管課において設置したサインについて管理を行います。

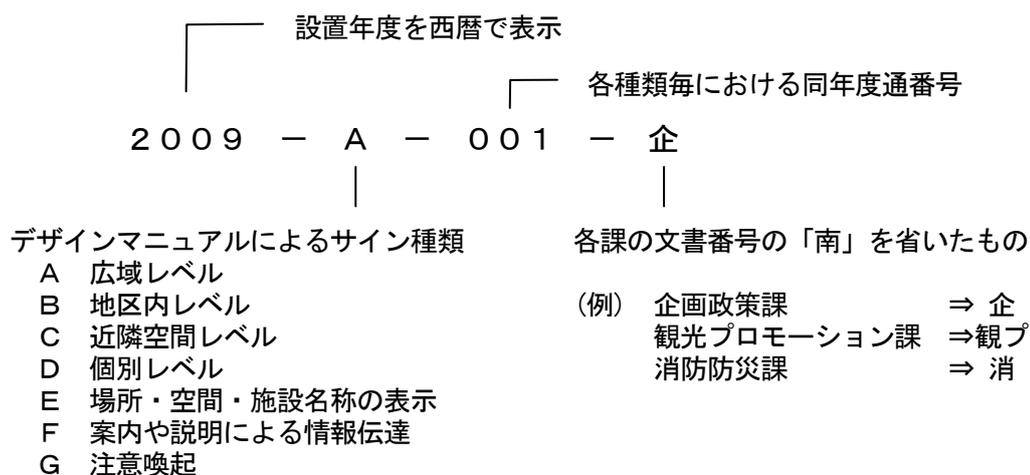
(3) 管理・メンテナンス

■台帳整備

庁内各課において、台帳を整備し、設置数・設置年度・設置場所等を明記し、計画的かつ効率的に管理するもの（様式は巻末「資料編」のとおり）とし、設置するサインの支柱には南房総市のステッカーを貼ります。

また、現在、市で推進している『全庁型コミュニケーションGIS』を活用した管理も併せて実施することを、今後検討していきます。

台帳管理するサインについては、以下の方法に従い整理します。なお、台帳に登録する時期については、新規サインについては設置時、既存サインについては更新時に台帳へ登録するものとします。



■メンテナンス

◆本体メンテナンス

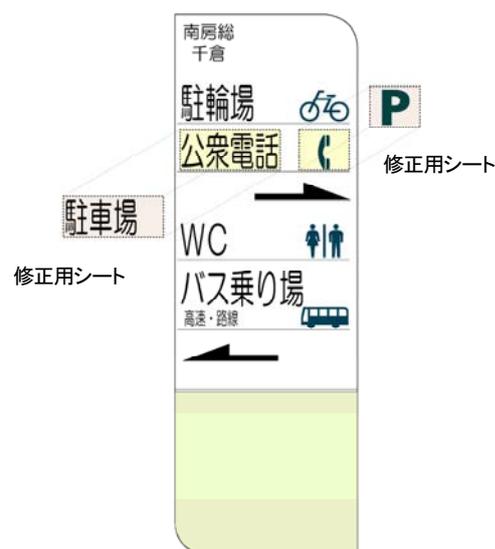
- ①清掃 基本的に、年に1度程度の定期清掃することが好ましいと考えます。汚れやほこりを水ぶきにて清掃を行い、汚れがとれない場合は中性洗剤などを使用します。その際、必要以上にこすり板面を傷つけないよう注意することが必要です。
- ②保守点検 清掃時に、ボルトのがたつき、板面の破損の有無、塗装の剥がれをチェックします。

◆表示メンテナンス

本体メンテナンスを行うと同時に、設置しているサインに表示している内容について確認を行うものとします。情報を更新する必要がある場合は、以下の基準に従い更新作業をすることとします。

①部分的な情報更新

例えば、ある施設の名称が変更になったなど、板面のうち小さな情報更新については、修正用シートの張り込みによる修正を行います。



②全面的な情報更新

例えば、設置後5年以上経過した案内サインにおいて表示している内容に複数の情報更新の必要性がある場合や、全体的に印刷面の退色が見られる場合は、板面を取り替えることとします。

なお、市による施設整備等に伴う情報更新の必要が生じた場合は、その施設を整備した所管課において修正作業を行うものとします。

—— 資料編 ——

- ・南房総市サイン計画検討委員会
- ・日本大学生産工学部建築工学科川岸研究室
- ・マニュアル策定過程
- ・サイン現況調査結果
- ・標準案内用図記号（ピクトグラム一覧）
- ・参考設計
- ・管理台帳様式

南房総市サイン計画検討委員会

南房総市告示第73号

南房総市サイン計画検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 市民及び来訪者にとってわかりやすく親切で、地域景観の向上にも貢献する美観性と視認性に優れた統一的なサインの整備を推進する南房総市サイン計画の策定に際し、市民及び関係団体の意見等を広く反映し、市民との協働により計画を策定することを目的として、南房総市サイン計画検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、南房総市サイン計画に関する事項について調査及び研究を行う。

(組織)

第3条 委員は、15人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 商工関係者
- (2) 観光協会関係者
- (3) 道の駅関係者
- (4) 交通事業者
- (5) 市民代表
- (6) 千葉県職員

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

(意見等の聴取)

第6条 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画部企画政策課において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成20年6月4日から施行する。

(失効)

2 この告示は、平成21年3月31日限り、その効力を失う。

南房総市サイン計画検討委員会 委員名簿

任期 平成20年7月23日～平成21年3月31日

No.	所 属	所属先職名	氏 名	備 考
1	南房総市内房商工会	主任経営 指 導 員	井 口 芳 光	商工関係者
2	南房総市内房商工会	事務局長	久 松 豊 彦	商工関係者
3	南房総市観光協会	副 会 長	井 野 宏 一	観光協会関係者
4	南房総市観光協会	企画委員長	堀 江 洋 一	観光協会関係者
5	安房道の駅連絡会	委 員	角 田 明 美	道の駅関係者
6	館山日東バス株式会社	総務部長	中 山 徳 壽	交通事業者
7	ジェイアールバス関東株式会社 館山支店	支 店 長	大 森 清 美	交通事業者
8	南房総未来塾研究グループ	委 員	鈴 木 潤 一	市民代表
9	南房総未来塾研究グループ	委 員	佐 藤 香 里	市民代表
10	一般公募委員	—	細 尾 正 一	市民代表
11	安房地域整備センター	管理課長	栗 山 優	千葉県職員
12	安房地域整備センター	調整課長	吉 田 行 伸	千葉県職員

日本大学生産工学部建築工学科川岸研究室

日本大学生産工学部建築工学科川岸研究室

教授 川岸梅和 博士（工学）・登録建築家（1級建築士）・専攻建築士（まちづくり・設計）

助手 北野幸樹 博士（工学）・1級建築士

大学院博士後期課程：杉本弘文

卒業研究生：生活空間デザインに関する研究グループ

：石川秀一、小林武文、鈴木勝、波多野明子、松本悠里

ゼミナール生：生活空間デザインに関する研究グループ

：梅本美結、中落美咲、六崎順哉

[現在の研究テーマ]

- 1) 生命工学に基づく生活・居住環境づくりと共生に関する研究
 - ・アメリカ エコビレッジ型・エコロジー型コウハウジングの生活空間・生活活動
 - ・モンゴル ウランバートルの集合住宅居住者及び遊牧民の生活空間・生活活動
- 2) コーポラティブ・ハウジング（居住者参加型の住まいづくり）に関する研究
- 3) 近隣空間における余暇活動と余暇関連施設・空間に関する研究
- 4) 都市・建築・生活空間デザインに関する研究
 - ・市民参加型のまちづくり
 - ・人・活動・空間・時間の相互浸透関係とコミュニティデザイン
- 5) 福祉環境デザインに関する研究
 - ・知的障害者のグループホームに関する研究
 - ・高齢者のグループホームに関する研究
 - ・高齢者のグループリビングに関する研究

[受賞]

第10回 2007年 まちの活性化・都市デザイン競技

まちづくり月間実行委員会会長賞（全国2位） 2008年

第22回すまい・まちづくり設計競技 住宅生産振興財団会長賞（全国3位） 2005年

UIA 都市礼讃国際アイデアコンペ 日本国内審査入賞（日本代表作品）

〈カテゴリーI：プロの建築家〉2004年

第19回すまい・まちづくり設計競技 特選・国土交通大臣賞（全国1位） 2002年

第1回読売まちづくり設計コンペ 1等 1990年

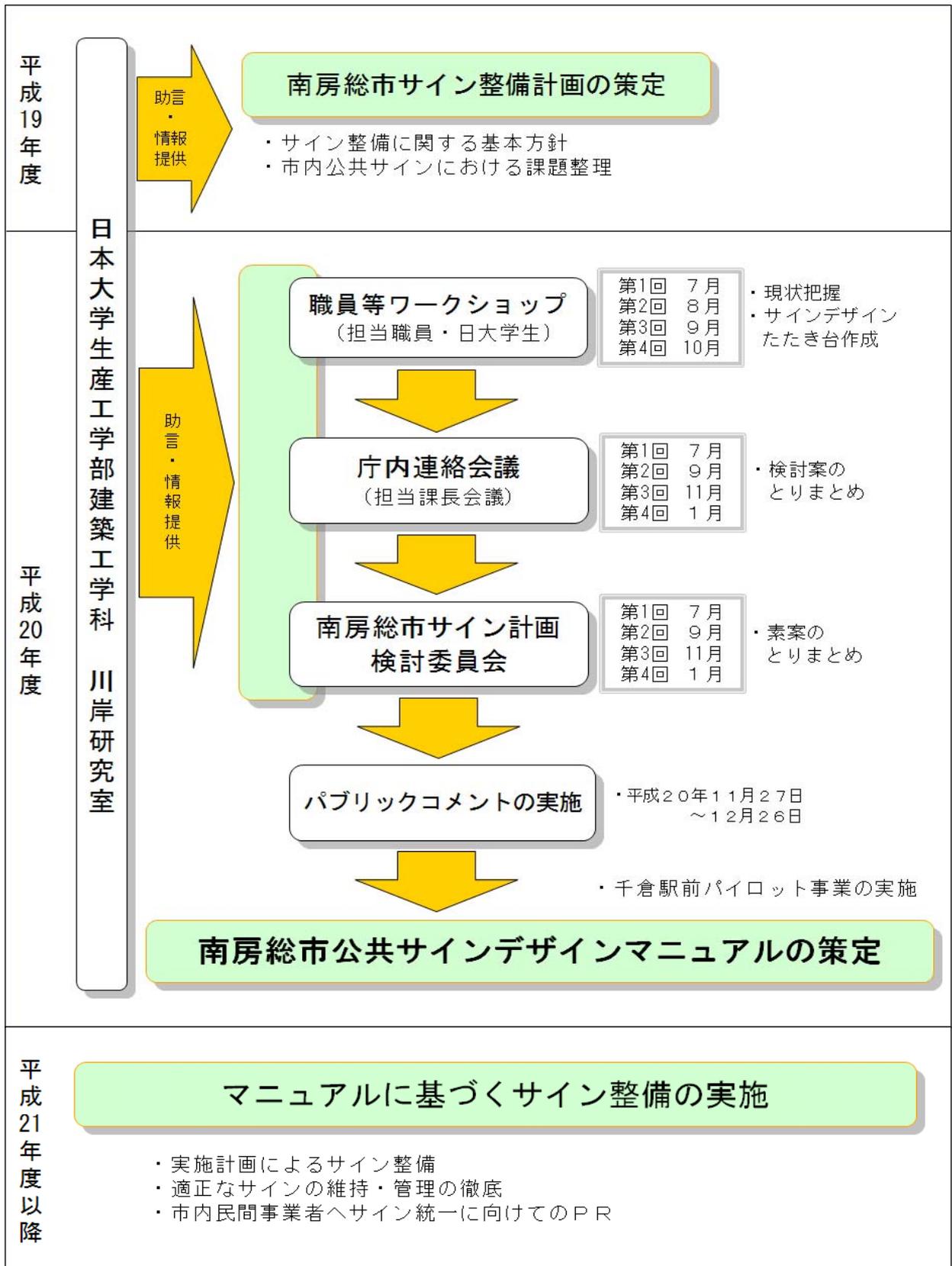
'89世界デザイン博覧会 建築デザイン競技 奨励賞 1989年

足利市 建築文化賞（足利ハリストス正教会主の昇天聖堂） 1984年

他22作品受賞

マニュアル策定過程

マニュアル策定過程



サイン現況調査結果

サイン現況調査結果

平成20年7月実施

部	課	種類数	内訳		基数	内訳						旧町村名 入りサイン数	備考	
			既存	新規		富浦	富山	三芳	白浜	千倉	丸山			和田
企画部	企画政策課	11	8	3	12	1	7	0	0	3	0	1	3	
	秘書課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	情報推進課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職路プロジェクト推進室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総務部	総務課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財政課	21	21	0	24	4	2	3	3	3	4	5	8	
	税務課	8	8	0	8	3	2	0	1	1	1	0	0	
	収納課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保健福祉部	社会福祉課	13	13	0	17	0	0	0	0	3	0	14	10	
	健康増進課	17	17	0	18	0	8	1	3	4	2	0	9	
	子育て支援課	5	5	0	6	0	2	0	0	4	0	0	5	
	高齢者福祉課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活環境部	市民課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	消防防災課	47	45	2	722	68	95	39	114	227	88	91	354	
	環境保全課	54	54	0	994	82	73	9	29	331	158	312	880	
	農林水産課	29	29	0	32	4	3	8	7	1	5	4	14	
農林水産部	農山漁村整備推進課	18	18	0	25	0	3	9	1	1	1	10	10	
	商工観光課	602	602	0	830	136	75	32	439	82	51	15	174	
建設部	建設課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	管理課	39	39	0	94	12	11	16	1	50	2	2	30	
	国土調査課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	業務課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水道部	管理課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	会計課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
議事事務局		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
農業委員会	教育総務課	86	86	0	424	112	49	44	15	127	60	17	247	
	学校教育課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生涯学習課	81	81	0	300	23	78	35	54	43	54	13	238	
	合計	1,031	1,026	5	3,506	445	408	196	667	880	426	484	1,982	

標準案内用図記号（ピクトグラム一覧）

標準案内用図記号

1. 公共・一般施設

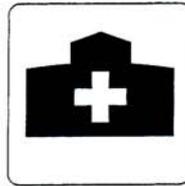
推奨度
A



案内所
Question & answer
理解度 68.1



情報コーナー
Information
理解度 22.2



病院
Hospital
理解度 90.3



救護所
First aid
理解度 89.1



飲料水
Drinking water
理解度 79.4



警察
Police
理解度 75.8



お手洗
Toilets
理解度 92.1



男子
Men
理解度 76.6



女子
Women
理解度 94.2



車椅子スロープ
Accessible slope
理解度 80.6



身障者用設備
Accessible facility
理解度 94.7



喫煙所
Smoking area
理解度 93.9



備考
火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、
上記の図記号を使用する必要がある。

既存の図記号をそのまま使用したのものには、図記号右下に※印を表示している

推奨度
B



チェックイン/受付
Check-in / Reception
理解度 73.9



忘れ物取扱所
Lost and found
理解度 75.8



ホテル/宿泊施設
Hotel / Accommodation
理解度 81.9



きっぷうりば/精算所
Tickets / Fare adjustment
理解度 45.1



カート
Cart
理解度 43.2



手荷物一時預かり所
Baggage storage
理解度 72.4



コインロッカー
Coin lockers
理解度 78.5



休憩所/待合室
Lounge / Waiting room
理解度 87.8



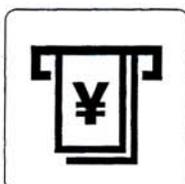
ミーティングポイント
Meeting point
理解度 29.7



エレベーター
Elevator
理解度 92.3



銀行・両替
Bank, money exchange
[注2]通貨記号差し替え可
理解度 76.7



キャッシュサービス
Cash service
[注2]通貨記号差し替え可
理解度 50.3



郵便
Post
理解度 73.4



電話
Telephone
理解度 98.6



ファックス
Fax
理解度 95.5

1. 公共・一般施設

推奨度 B



階段
Stairs
理解度 89.7



乳幼児用設備
Nursery
理解度 80.8



クローク
Cloakroom
理解度 74.0



更衣室
Dressing room
理解度 50.0



エスカレーター
Escalator
理解度 96.1



更衣室(女子)
Dressing room (women)
理解度 67.6



シャワー
Shower
理解度 97.2



浴室
Bath
理解度 87.7



水飲み場
Water fountain
理解度 91.9



くず入れ
Trash box
理解度 97.1



リサイクル品回収施設
Collection facility for
the recycling products

理解度 56.1

2. 交通施設

推奨度 B



航空機 / 空港
Aircraft / Airport
理解度 94.6



鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station
理解度 89.1



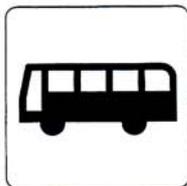
船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port
理解度 95.6



ヘリコプター / ヘリポート
Helicopter / Heliport
理解度 95.1



到着
Arrivals
理解度 22.5



バス / バスのりば
Bus / Bus stop
理解度 97.4



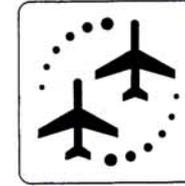
タクシー / タクシーのりば
Taxi / Taxi stop
理解度 99.3



レンタカー
Rent a car
理解度 15.3



自転車
Bicycle
理解度 94.6



乗り継ぎ
Connecting flights
理解度 21.9



ロープウェイ
Cable car
理解度 80.6



ケーブル鉄道
Cable railway
理解度 57.3



駐車場
Parking
理解度 97.9



出発
Departures
理解度 27.6



手荷物受取所
Baggage claim
理解度 62.1

2. 交通施設

推奨度 B



税関 / 荷物検査
Customs / Baggage check
理解度 81.7



出国手続 / 入国手続 / 検疫 / 書類審査
Immigration / Quarantine / Inspection
理解度 50.3

3. 商業施設

推奨度 B



レストラン
Restaurant
理解度 98.6



喫茶・軽食
Coffee shop
理解度 90.7



バー
Bar
理解度 78.3



ガソリンスタンド
Gasoline station
理解度 86.5



会計
Cashier 理解度 40.4
[注2]通貨記号差し替え可

推奨度 C



店舗 / 売店
Shop
理解度 56.3



新聞・雑誌
Newspapers, magazines
理解度 60.1



薬局
Pharmacy
理解度 72.2



理容 / 美容
Barber / Beauty salon
理解度 98.6



手荷物託配
Baggage delivery service
理解度 57.2

4. 観光・文化・スポーツ施設

推奨度 B



展望地 / 景勝地
View point
理解度 79.6



陸上競技場
Athletic stadium
理解度 75.8



サッカー競技場
Football stadium
理解度 92.7



野球場
Baseball stadium
理解度 88.4



テニスコート
Tennis court
理解度 95.9



海水浴場 / プール
Swimming place
理解度 96.3



スキー場
Ski ground
理解度 98.6



キャンプ場
Camp site
理解度 94.1



温泉
Hot spring
理解度 95.3

4. 観光・文化・スポーツ施設

推奨度 C



公園
Park
理解度 84.1



博物館 / 美術館
Museum
理解度 29.9



歴史的建造物
Historical monument
理解度 73.1



応用例 1
variant 1
理解度 94.5



応用例 2
variant 2
理解度 87.3

参考



自然保護
Nature reserve



スポーツ活動
Sporting activities



スカッシュコート
Squash court



Tバーリフト
T bar lift



腰掛け式リフト
Chairlift

5. 安全

推奨度 A



消火器
Fire extinguisher
理解度 99.3



非常電話
Emergency telephone
理解度 93.2



非常ボタン
Emergency call button
理解度 87.8



非常口
Emergency exit



広域避難場所
Safety evacuation area

6. 禁止

推奨度 A



一般禁止
General prohibition
理解度 41.9



禁煙
No smoking
理解度 97.9



備考
火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、上記の図記号を使用する必要がある。 理解度 95.8



火気厳禁
No open flame



進入禁止
No entry
理解度 91.7



駐車禁止
No parking
理解度 92.6



自転車乗り入れ禁止
No bicycles
理解度 85.2



立入禁止
No admittance 理解度 85.3

既存の図記号をそのまま使用したのものには、図記号右下に※印を表示している

6. 禁止

推奨度 A



走るな / かけ込み禁止
Do not rush
理解度 90.7



さわるな
Do not touch
理解度 88.3



捨てるな
Do not throw rubbish
理解度 91.5



飲めない
Not drinking water
理解度 90.5



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones
理解度 99.2



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 76.5



撮影禁止
Do not take photographs
理解度 98.6



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs
理解度 89.4

推奨度 B



ベビーカー使用禁止
Do not use prams
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 78.7



遊泳禁止
No swimming
理解度 98.3



キャンプ禁止
No camping
理解度 93.8

推奨度 C



飲食禁止
Do not eat or drink here
理解度 92.6



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals
理解度 97.3

7. 注意

推奨度 A



一般注意
General caution
理解度 88.9



障害物注意
Caution, obstacles
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 77.8



上り段差注意
Caution, uneven access / up
理解度 93.2



下り段差注意
Caution, uneven access / down
理解度 92.5



滑面注意
Caution, slippery surface
理解度 88.7



転落注意
Caution, drop
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 68.9



天井に注意
Caution, overhead
理解度 91.0



感電注意
Caution, electricity
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 79.7

8. 指示

推奨度
A



一般指示
General mandatory
理解度 52.8



静かに
Quiet please
理解度 90.8



左側にお立ちください
Please stand on the left
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 83.3



応用例 (右側にお立ちください)
variant (Please stand on the right)
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 83.9

推奨度
B



二列並び
Line up in twos
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 79.7



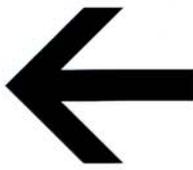
応用例 1 (一列並び)
variant 1 (Line up single file)
[注1] 文字による補助表示が必要



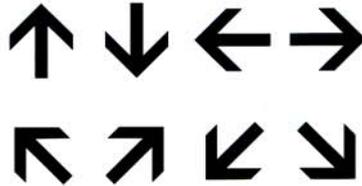
応用例 2 (三列並び)
variant 2 (Line up in threes)
[注1] 文字による補助表示が必要
理解度 75.6



応用例 3 (四列並び)
variant 3 (Line up in fours)
[注1] 文字による補助表示が必要



矢印
Directional arrow



応用例
variants

参考



安全バーを閉める
Close safety bar



安全バーを開ける
Open safety bar



徒歩客は降りる
Get off

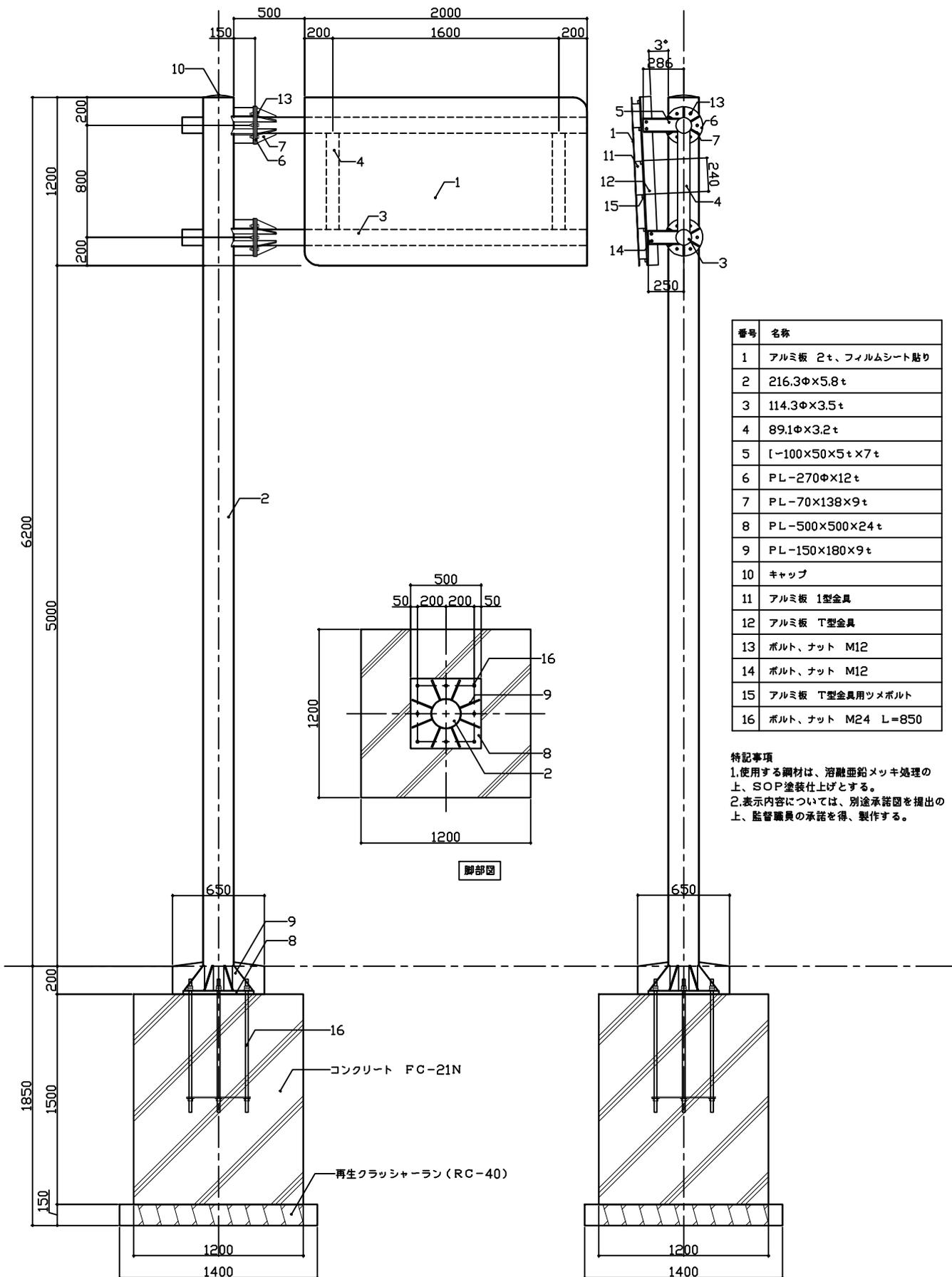


スキーマの先を上げる
Raise ski tips

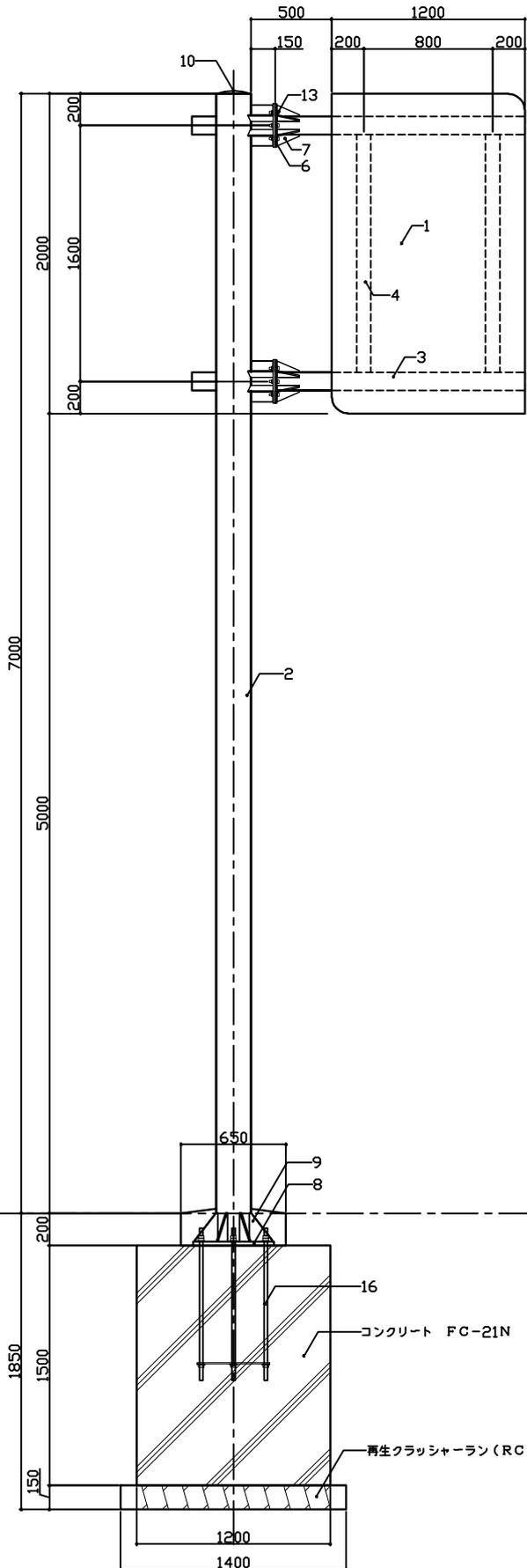


スキーマーは降りる
Skiers have to get off

参考設計



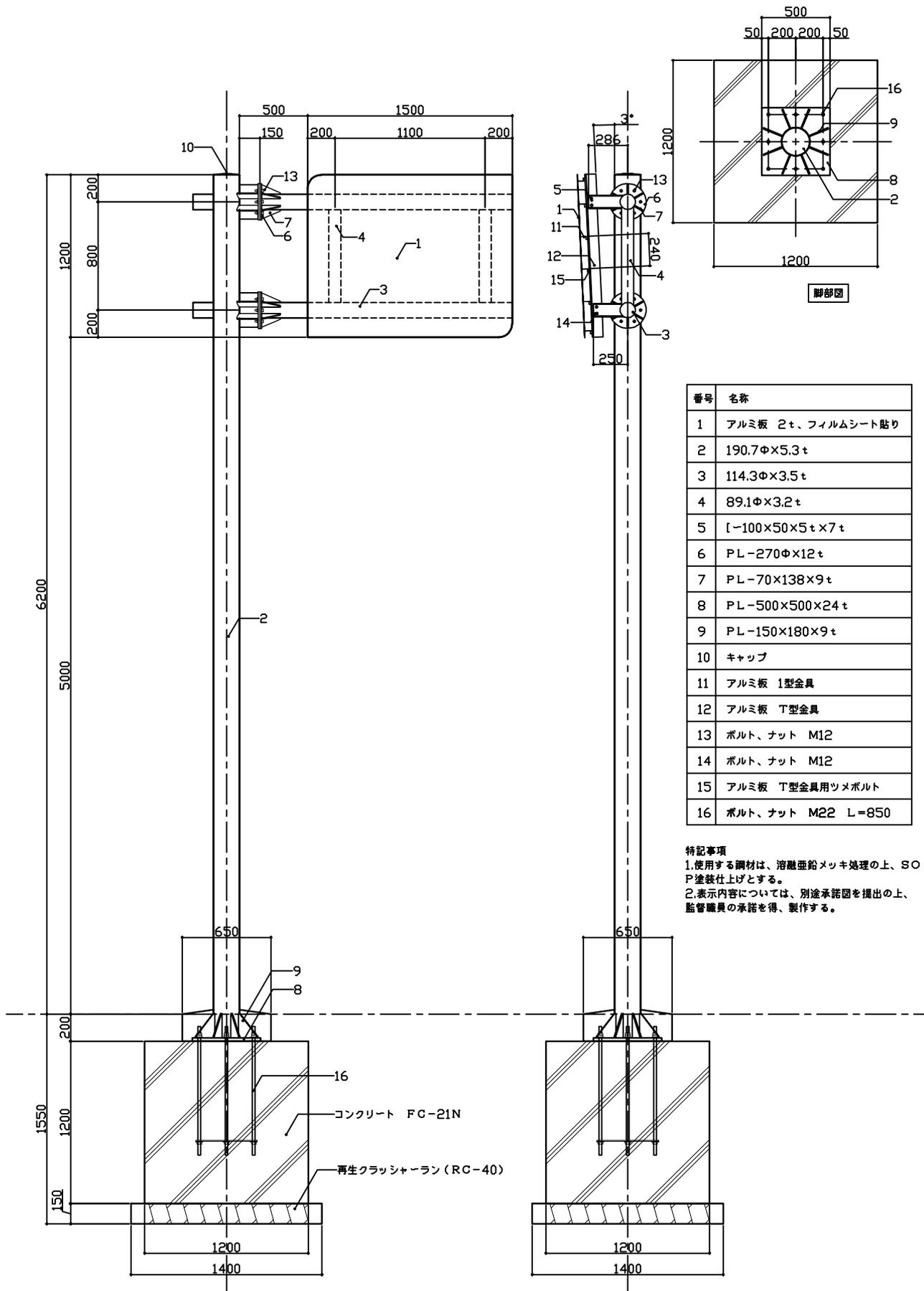
誘導機能 A 広域レベル1



番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り
2	216.3φ×5.8t
3	114.3φ×3.5t
4	89.1φ×3.2t
5	┌-100×50×5t×7t
6	PL-270φ×12t
7	PL-70×138×9t
8	PL-500×500×24t
9	PL-150×180×9t
10	キャップ
11	アルミ板 1型金具
12	アルミ板 T型金具
13	ボルト、ナット M12
14	ボルト、ナット M12
15	アルミ板 T型金具用ツメボルト
16	ボルト、ナット M24 L=850

特記事項
 1.使用する鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理の上、SO
 P塗装仕上げとする。
 2.表示内容については、別途承諾書を提出の上、
 監督職員の承諾を得、製作する。

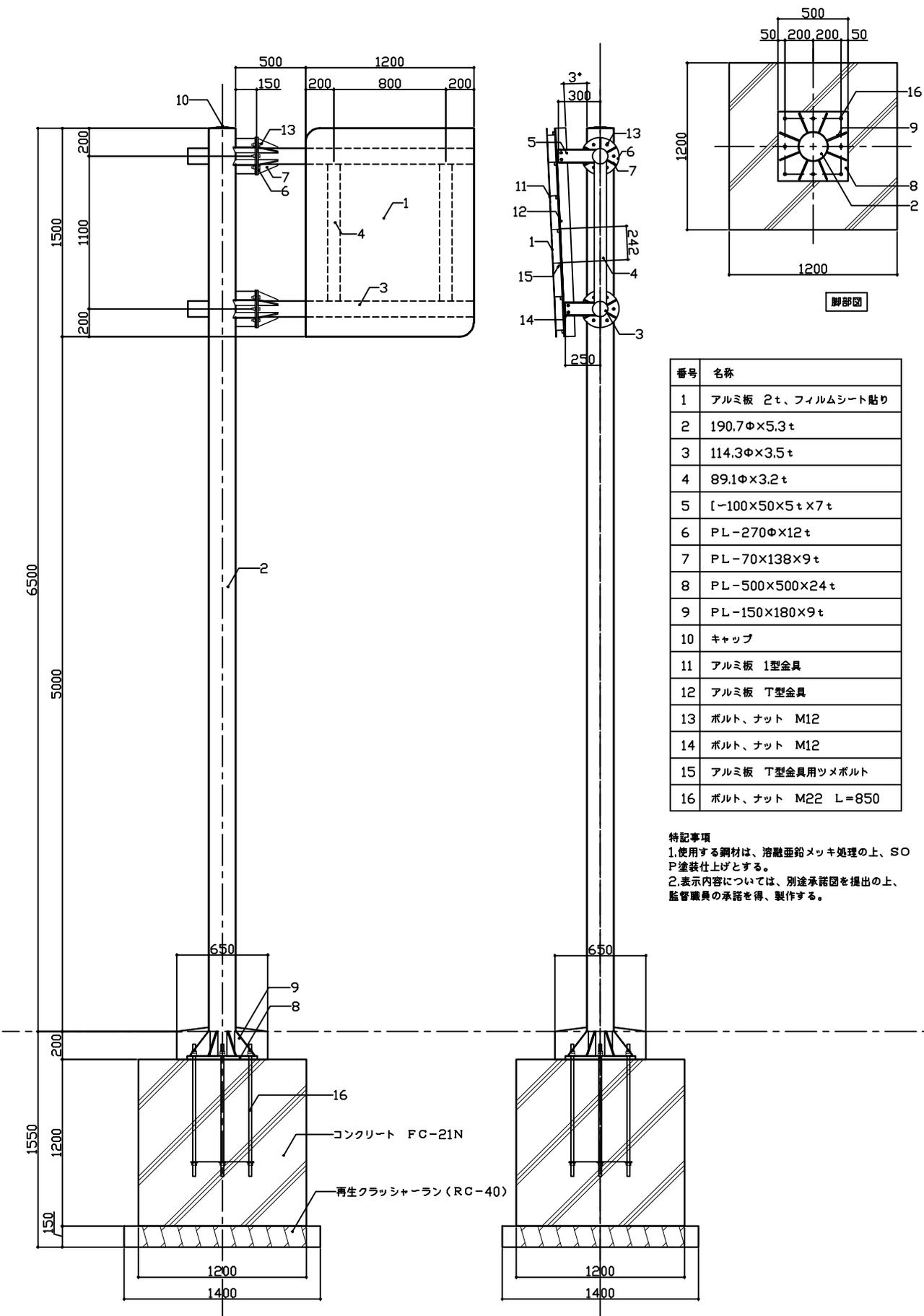
誘導機能 A 広域レベル2



番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り
2	190.7φ×5.3t
3	114.3φ×3.5t
4	89.1φ×3.2t
5	[-100×50×5t×7t
6	PL-270φ×12t
7	PL-70×138×9t
8	PL-500×500×24t
9	PL-150×180×9t
10	キャップ
11	アルミ板 1型金具
12	アルミ板 T型金具
13	ボルト、ナット M12
14	ボルト、ナット M12
15	アルミ板 T型金具用ツメボルト
16	ボルト、ナット M22 L=850

特記事項
 1.使用する鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理の上、SO P塗装仕上げとする。
 2.表示内容については、別途承諾書を提出の上、監督職員の承諾を得、製作する。

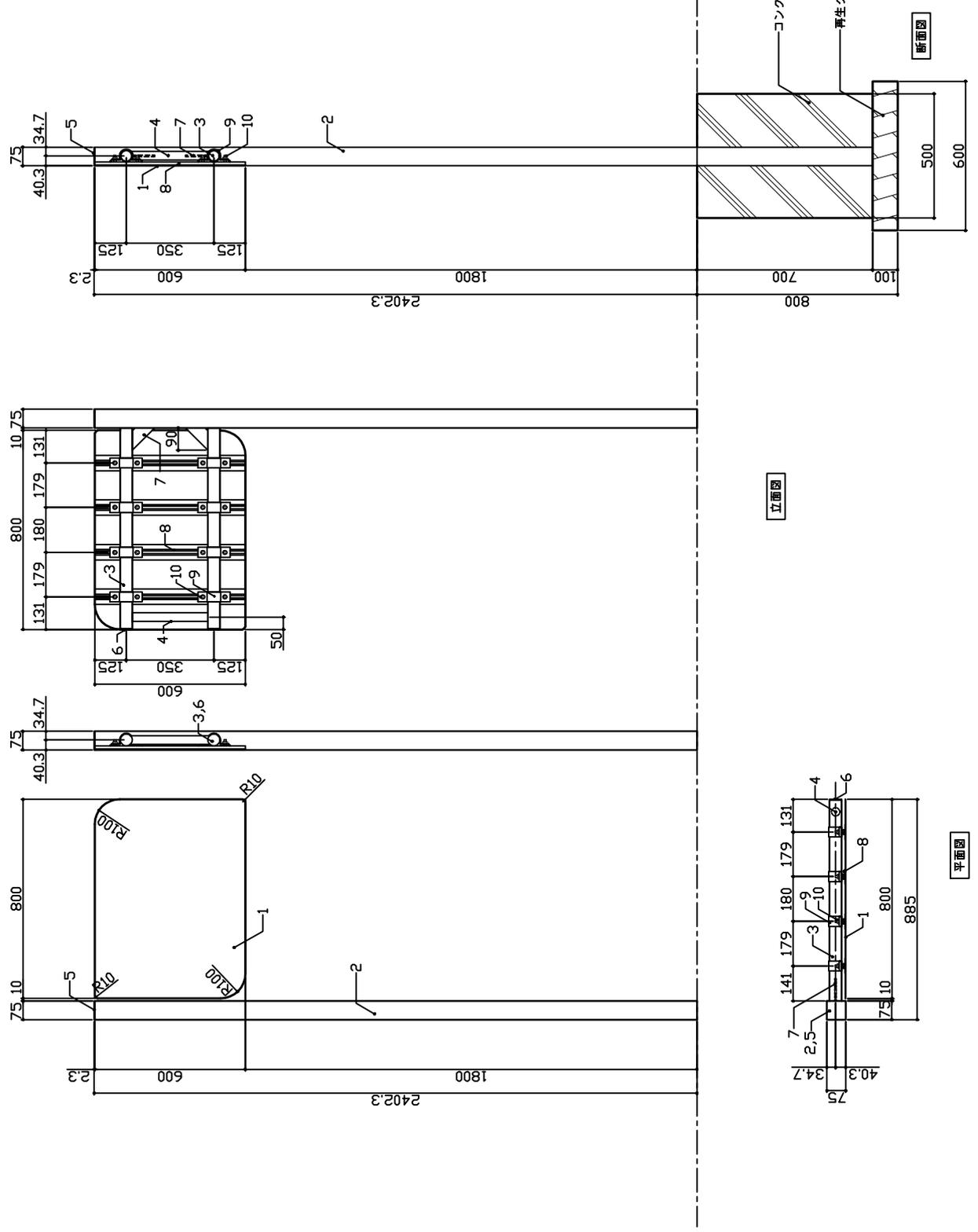
誘導機能 B 広域レベル1



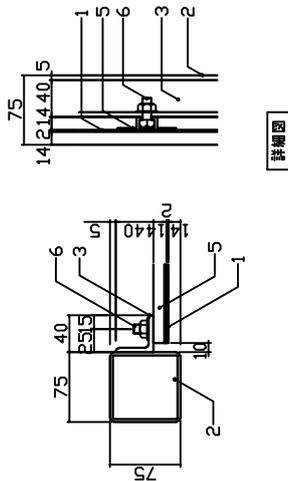
誘導機能 B 広域レベル2

材料一覧表	
番号	名称
1	アルミ板 2t、アルミシート貼り
2	75×75×3.2t
3	48.6φ×2.3t
4	34φ×2.3t
5	PL-2.3t
6	PL-2.3t
7	PL-6t
8	アルミ板 2型金具 (平リブ)
9	Uボンド
10	ボルト、ナット M10 (亜鉛メッキ)

特記事項
 1. 使用する素材は、消音面メッキ処理の上、SO
 P塗装仕上げとする。
 2. 表示内容については、別途仕様図を提出の上、
 監製員の承認を得、製作する。
 3. アルミシートはグラス（GPS）とする。



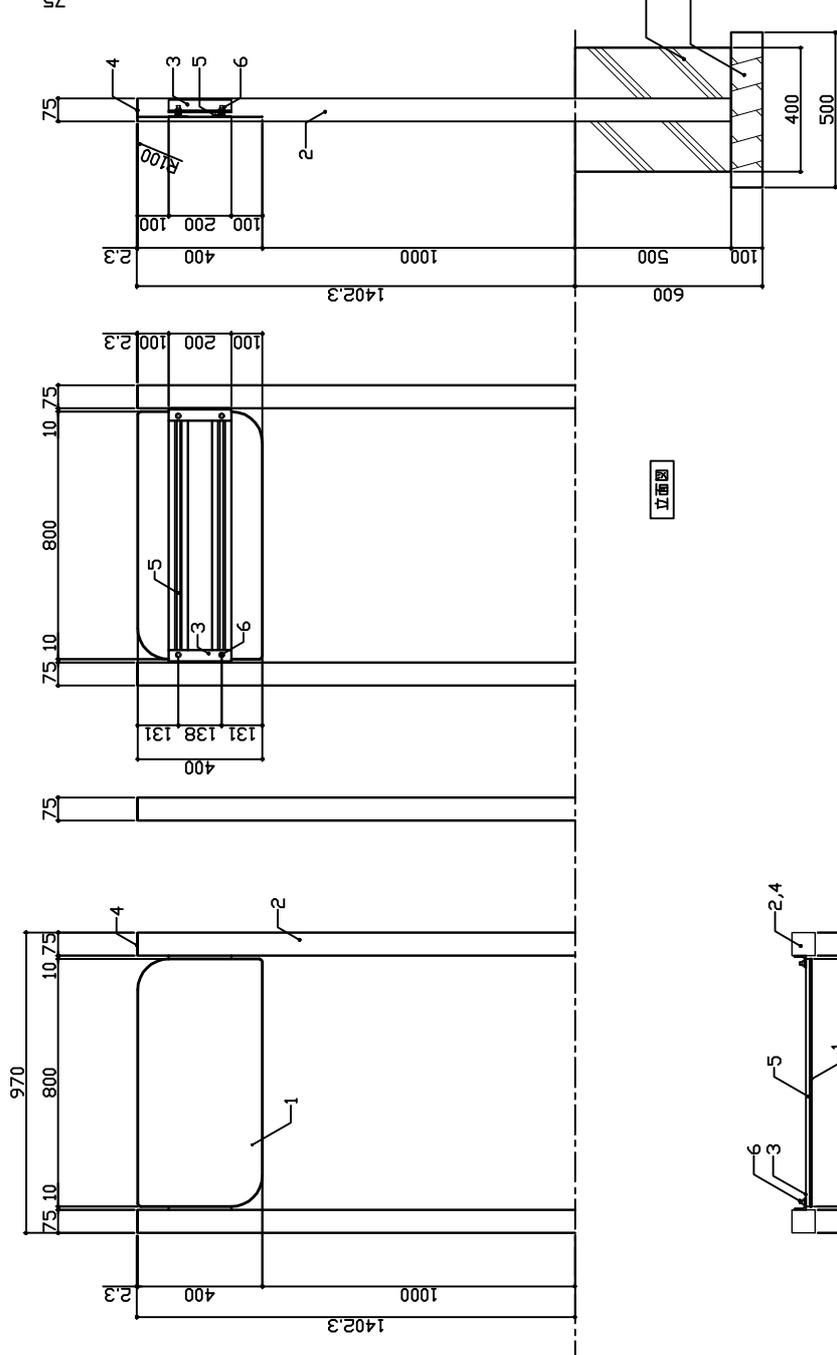
誘導機能 D 個別レベル 1, 2, 3



詳細図

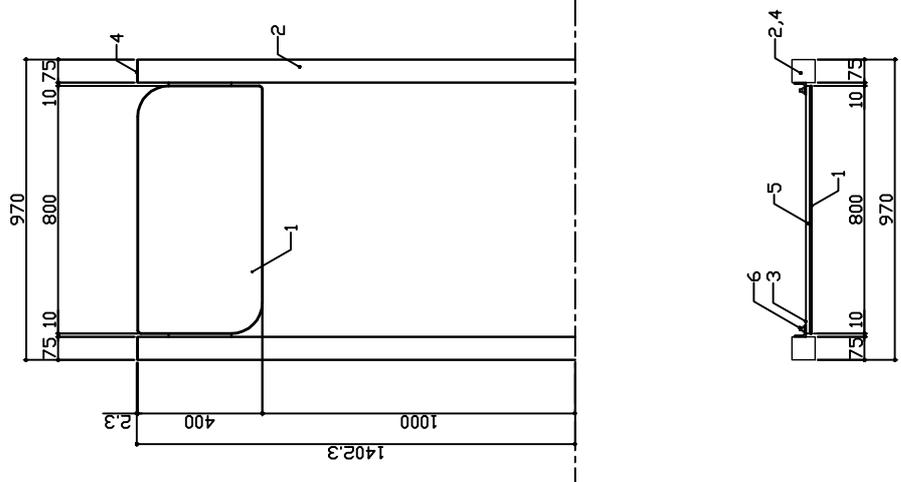
材料一覧表	
番号	名称
1	アルミ板 2t、アルミシート貼り
2	75×75×3.2t
3	L-40×40×5t
4	PL-2.3t
5	アルミ板 2型金属(平リブ)
6	ボルト、ナット M10(亜鉛メッキ)

特記事項
 1. 使用する鋼材は、油断型鋼メッキ処理の上、SO
 P 処理仕上りとする。
 2. 表示内容については、別途承認書を提出の上、
 監理委員の承認を得、製作する。
 3. アルミシートはグラス(GPS)とする。



立面図

断面図



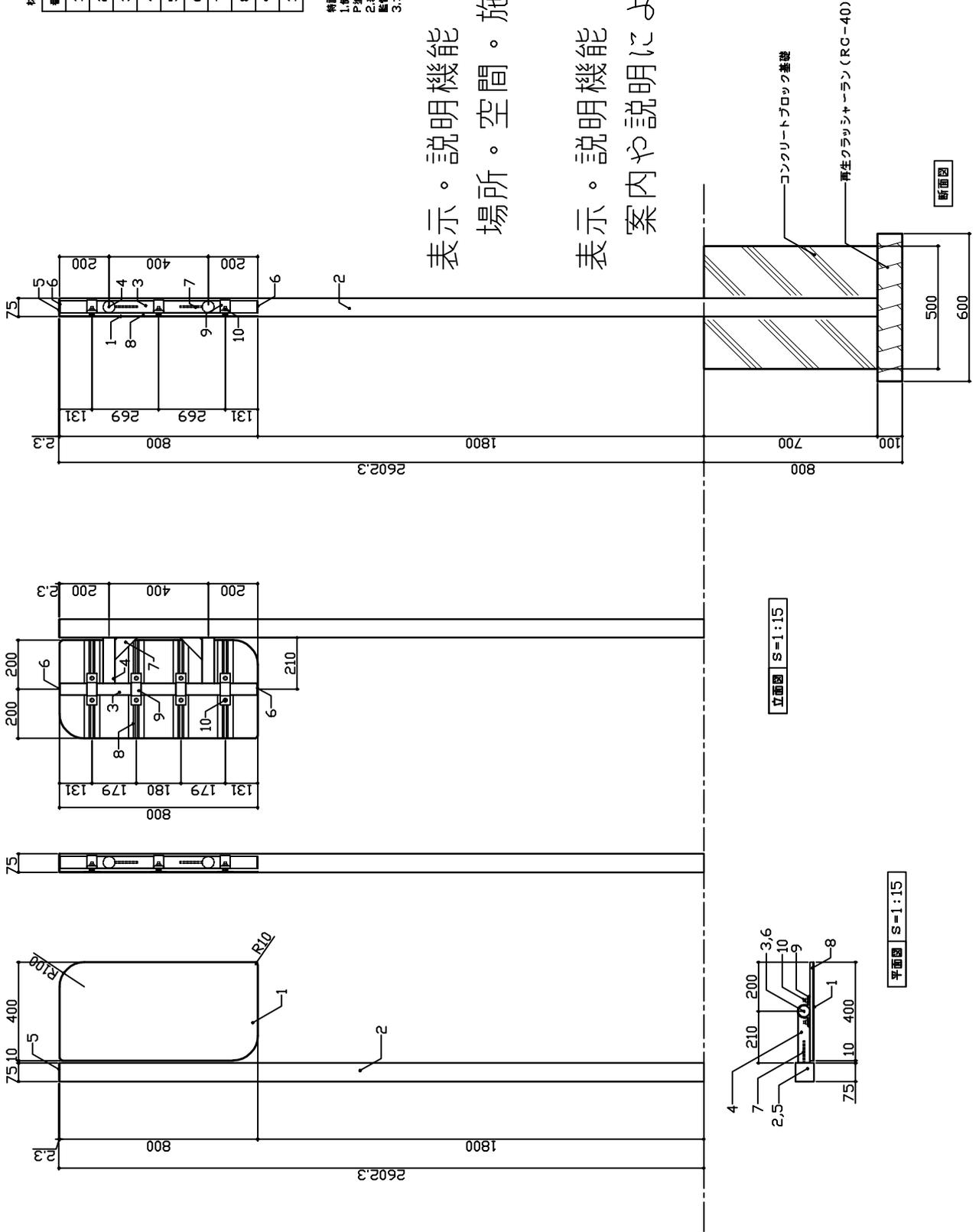
平面図

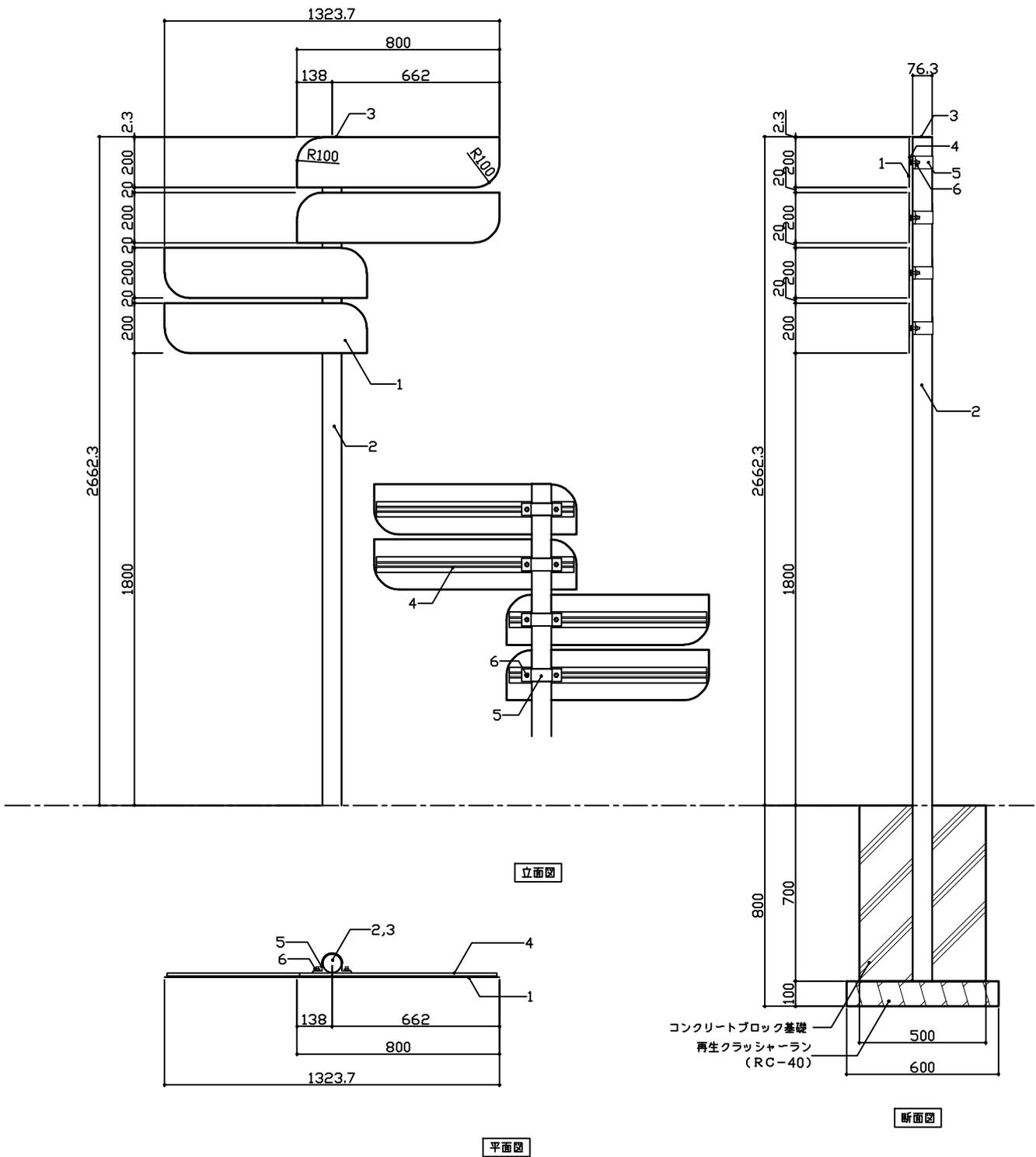
表示。説明機能 E 場所。空間。施設名称の表示 1, 3, 4

材料一覽表	番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り	
2	75×75×3.2t	
3	48.6φ×2.3t	
4	48.6φ×2.3t	
5	PL-2.3t	
6	PL-2.3t	
7	PL-6t	
8	アルミ板 2型塗膜(平リブ)	
9	Uバンド	
10	ボルト、ナット M10(亜鉛メッキ)	

特記事項
 1.使用する鋼材は、防錆処理済み処理の上、SO
 P処理仕上げとする。
 2.表示内容については、別途詳細図を提出の上、
 監理員の承認を得、製作する。
 3.フィルムシートはガラス(GPS)とする。

表示・説明機能 E
 場所・空間・施設名称の表示
 1, 3, 4, 6
 表示・説明機能 F
 案内や説明による情報伝達 2





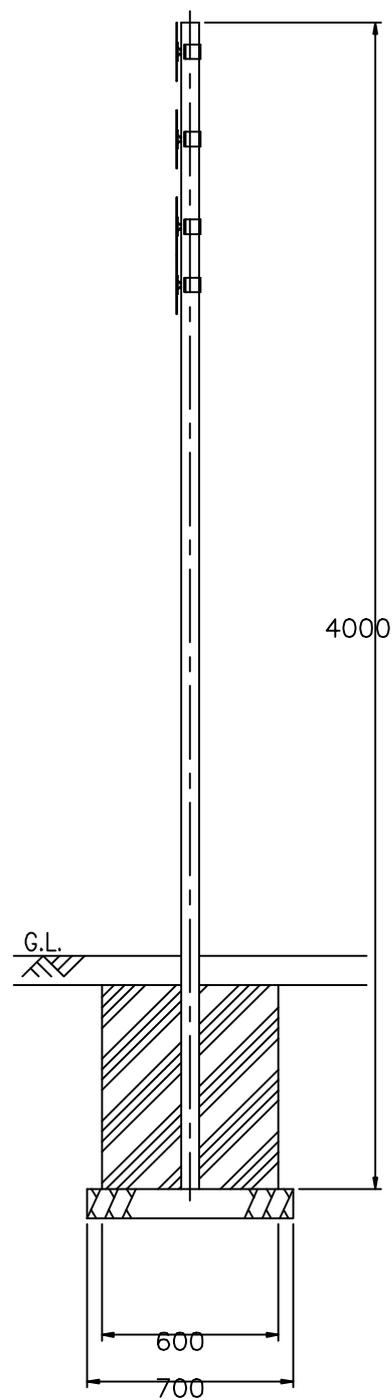
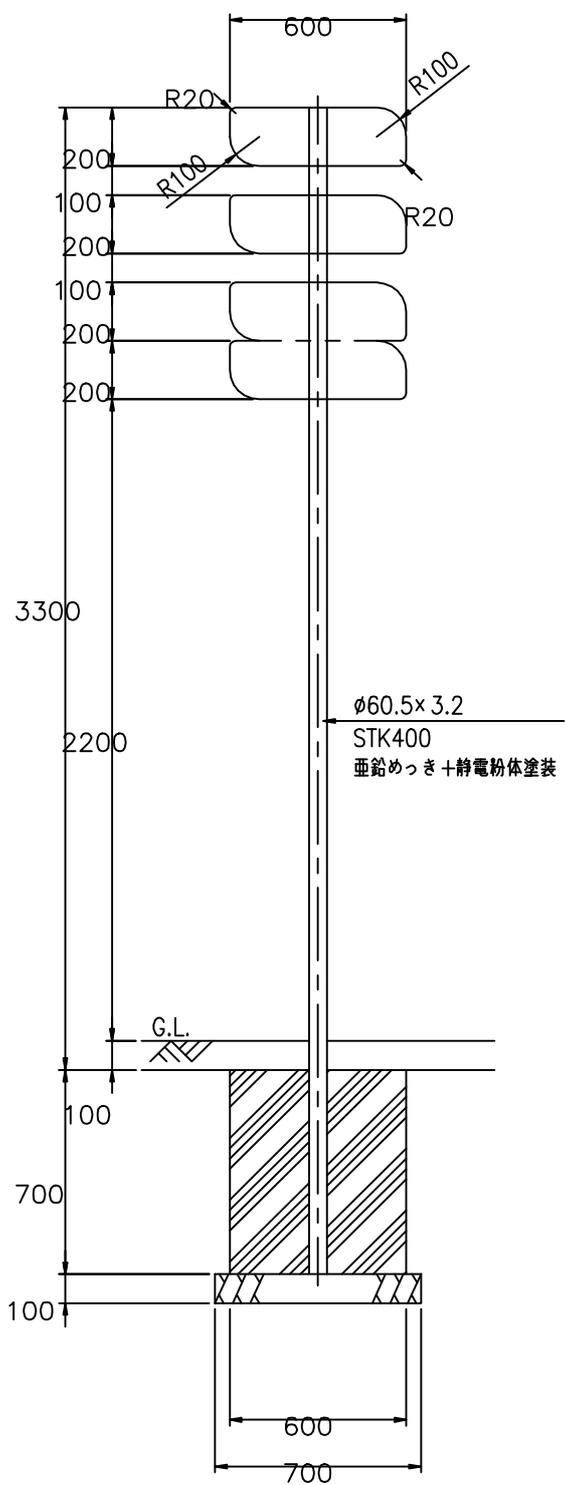
表示。説明機能 E
 場所。空間。施設名称の表示 5

材料一覧表

番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り
2	76.3φ×3.2t
3	PL-2.3t
4	アルミ板 2型金具 (平リブ)
5	Uバンド
6	ボルト、ナット M10 (亜鉛メッキ)

特記事項

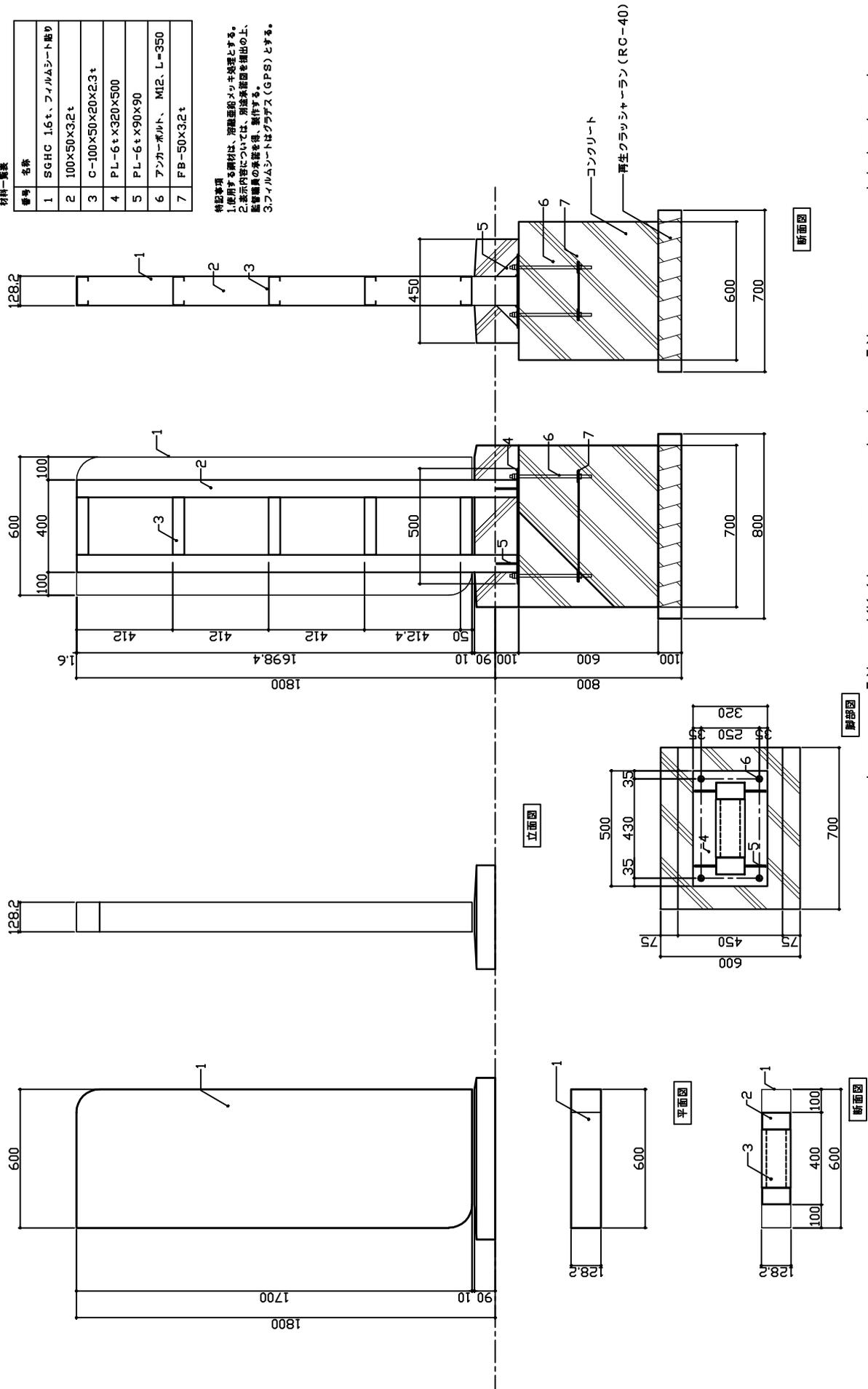
1. 使用する鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理の上、SO P塗装仕上げとする。
2. 表示内容については、別途承諾書を提出の上、監督委員の承諾を得、製作する。
3. フィルムシートはガラス (GPS) とする。



表示・説明機能 E 場所・空間・施設名称の表示 5

番号	名称
1	SGHC 1.6t、ファイナルシート貼り
2	100×50×3.2t
3	C-100×50×20×2.3t
4	PL-6t×320×500
5	PL-6t×90×90
6	アンカーボルト、M12、L=350
7	FB-50×3.2t

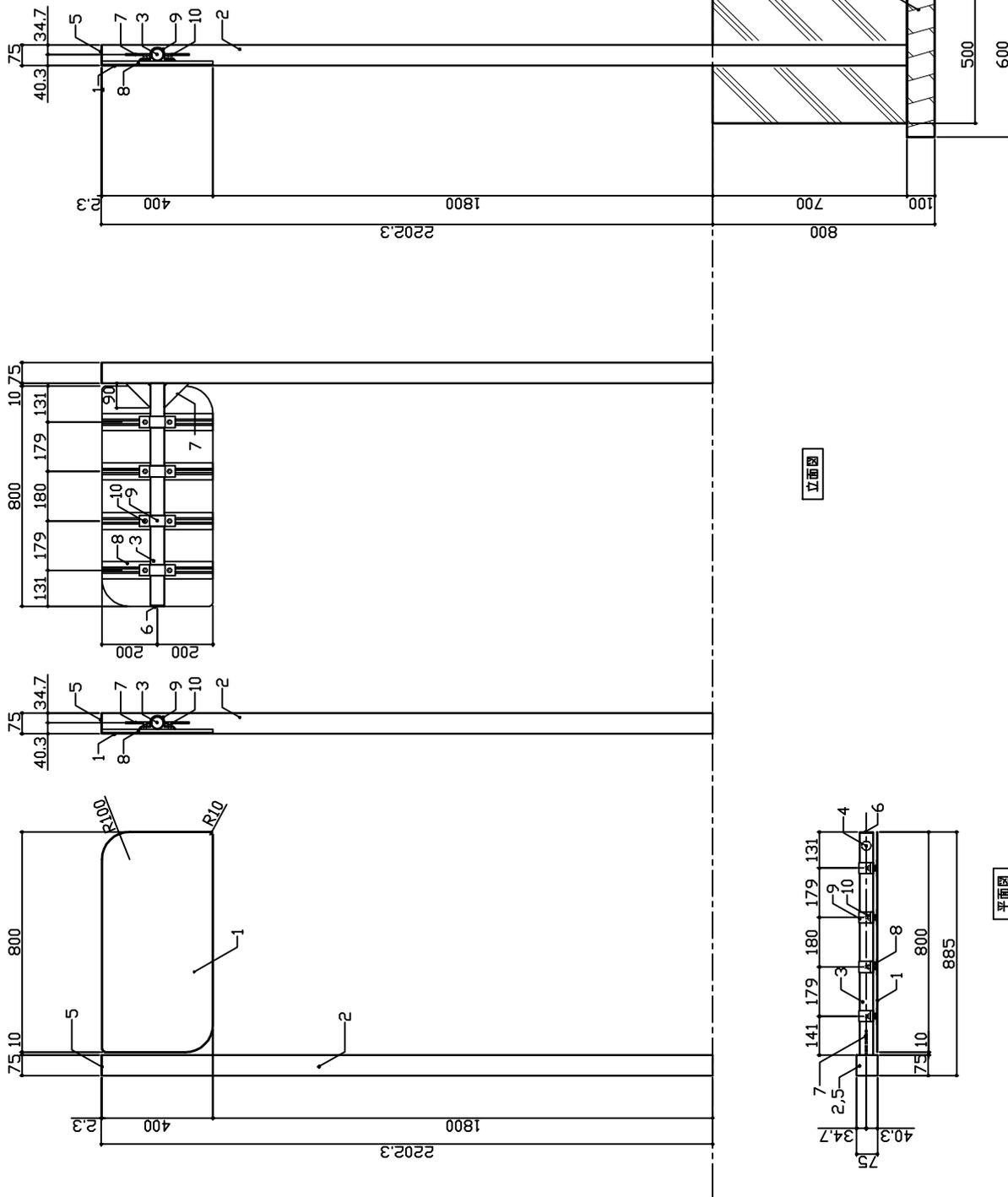
特記事項
 1.使用する鋼材は、溶接部熱メッキ処理とする。
 2.案内板については、別添図面を提出の上、監製場の承認を得、製作する。
 3.ファイナルシートはガラス(GPS)とする。



表示。説明機能 F 案内や説明による情報伝達 1

材料一覧表	
番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り
2	75X75X3.2t
3	48.6φX2.3t
4	34φX2.3t
5	PL-2.3t
6	PL-2.3t
7	PL-6t
8	アルミ板 2mm金具(平リブ)
9	Uバンド
10	ボルト、ナット M10(亜鉛メッキ)

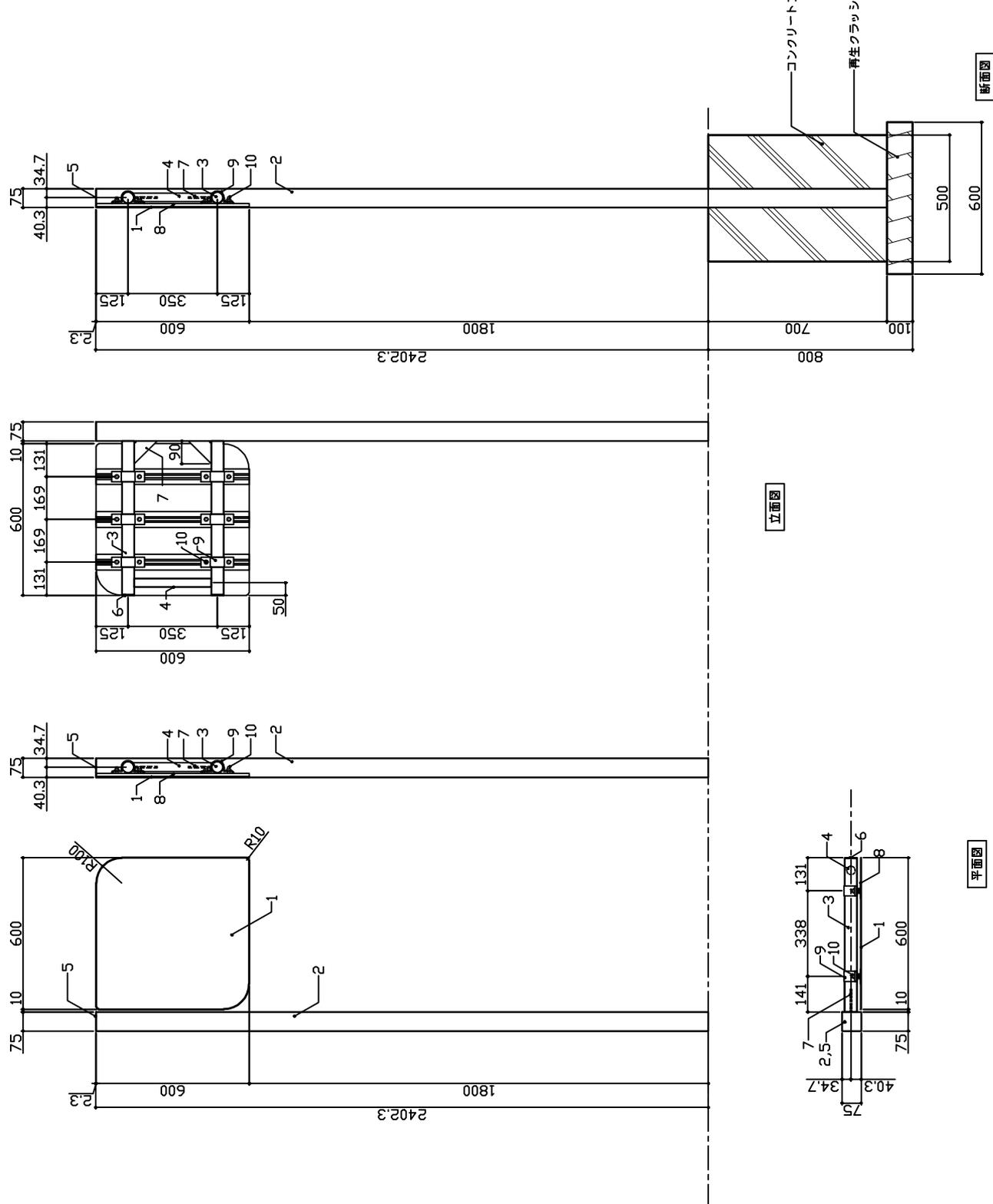
特記事項
 1. 使用する鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理の上、SO
 P塗装仕上げとする。
 2. 案内内径については、別途承認図を提出の上、
 監理機関の承認を得、製作する。
 3. フィルムシートはガラス(ガラス)とする。



表示・説明機能 F 案内や説明による情報伝達 1, 2

材料一覧表	
番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り
2	75×75×3.2t
3	48.6φ×2.3t
4	34φ×2.3t
5	PL-2.3t
6	PL-2.3t
7	PL-6t
8	アルミ板 2型金具(平リブ)
9	Uバンド
10	ボルト、ナット M10(亜鉛メッキ)

特記事項
 1.使用する素材は、消音面鉛メッキ処理の上、SO
 P塗装仕上げとする。
 2.表示内容については、別途承認図を提出の上、
 監査課員の承認を得、制作する。
 3.フィルムシートはガラス(GFP)とする。



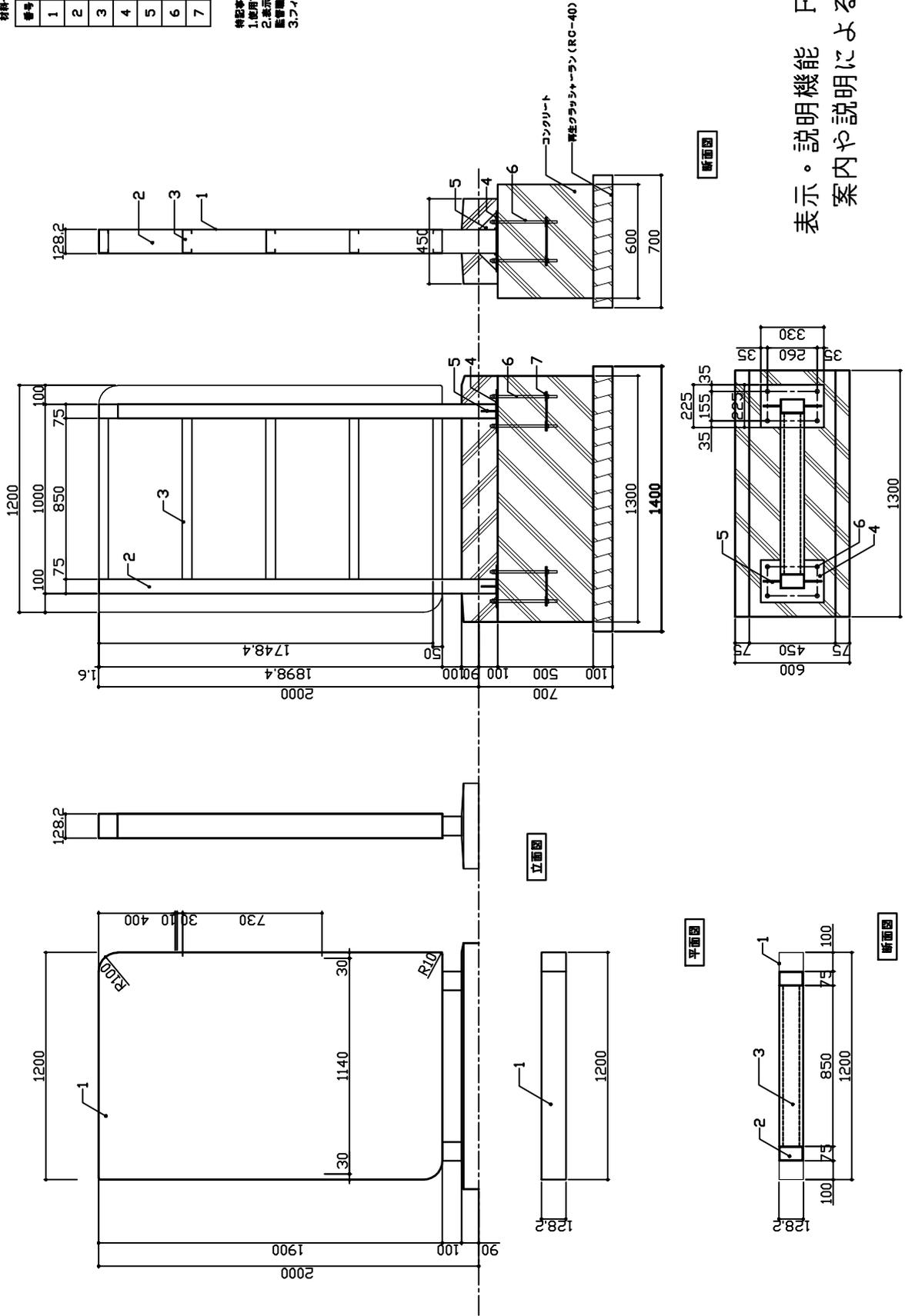
表示。説明機能 F 案内や説明による情報伝達2

材料一覧表

番号	名称
1	SGHC 1.6t、フィルムシート貼り
2	125x75x32t
3	C-125x50x20x2.3t
4	PL-9t x 225x320
5	PL-6t x 90x90
6	アンカーボルト、M12、L=350
7	FB-50x3.2t

特記事項

- 1.使用する鋼材は、海産物メッキ処理とする。
- 2.表示の数については、鋼材公差を組出しの上、取組みの公差を考慮して製作する。
- 3.フィルムシートはガラス（GFS）とする。



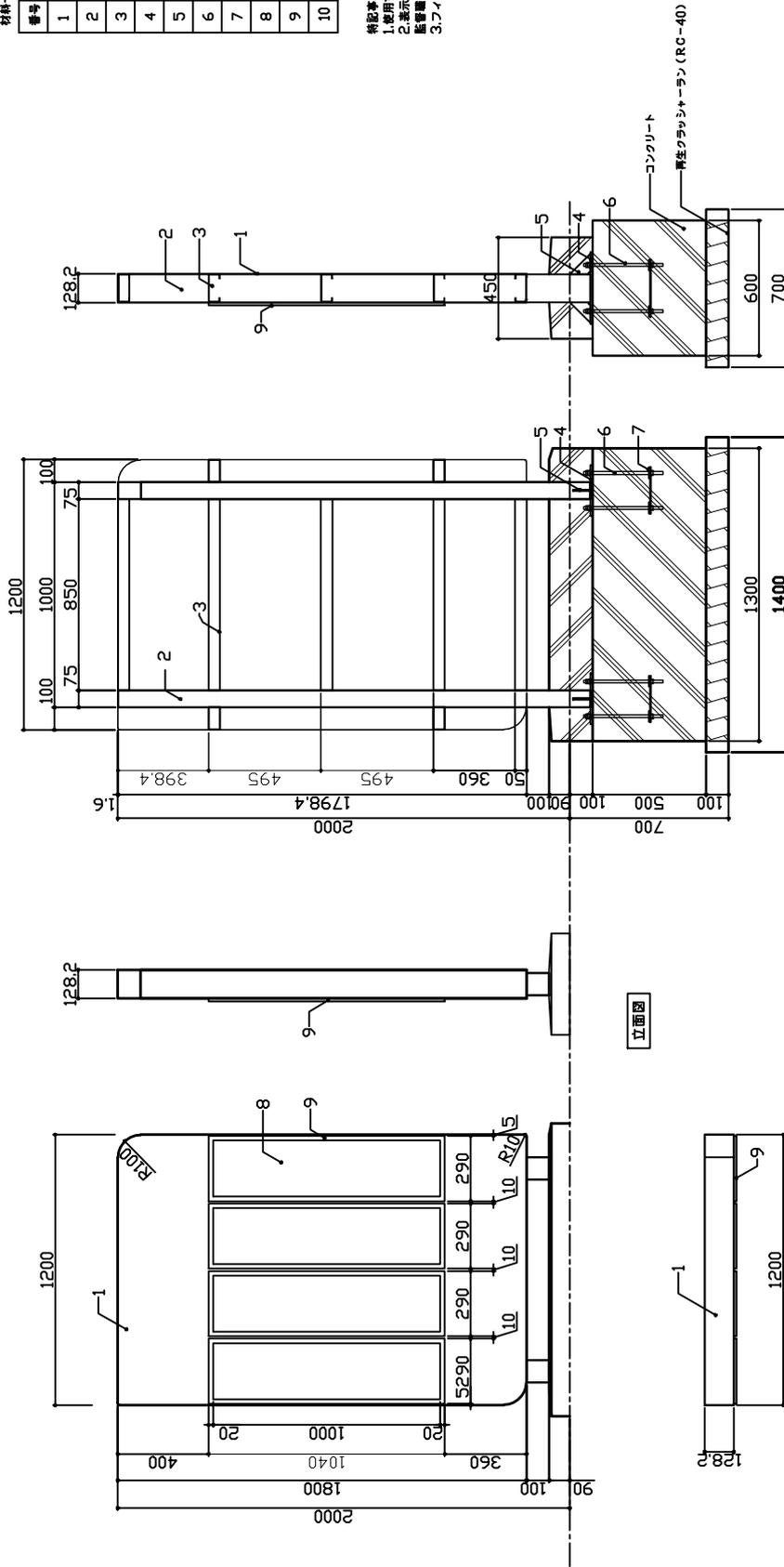
表示・説明機能 下
案内や説明による情報伝達了

材料一覧表

番号	名称
1	SGHC 1.6t、ファイナルシート貼り
2	125×75×3.2t
3	C-125×50×20×2.3t
4	PL-9t×225×320
5	PL-6t×90×90
6	アンカーボルト、M12、L=350
7	FB-50×3.2t
8	アクリル板 (透明) 2t
9	アルミ棒
10	樹脂板 アルミ版、2t

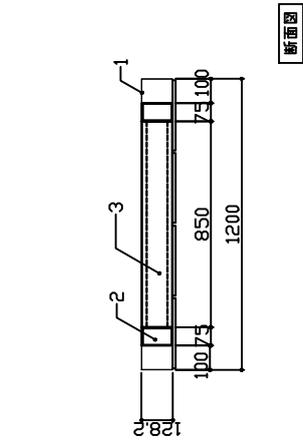
特記事項

- 1.使用する鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理とする。
- 2.表示内容については、別途承諾書を提出の上、監督職員の承認を得、製作する。
- 3.ファイナルシートはガラス (GPS) とする。



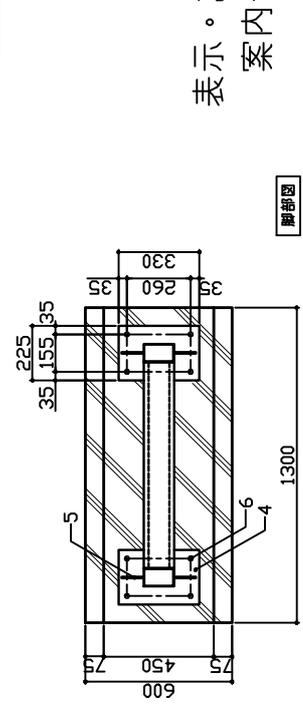
立面図

平面図



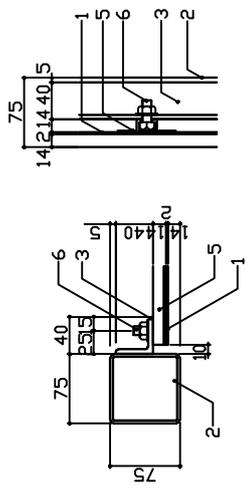
断面図

断面図



断面図

表示・説明機能 F
案内や説明による情報伝達 8

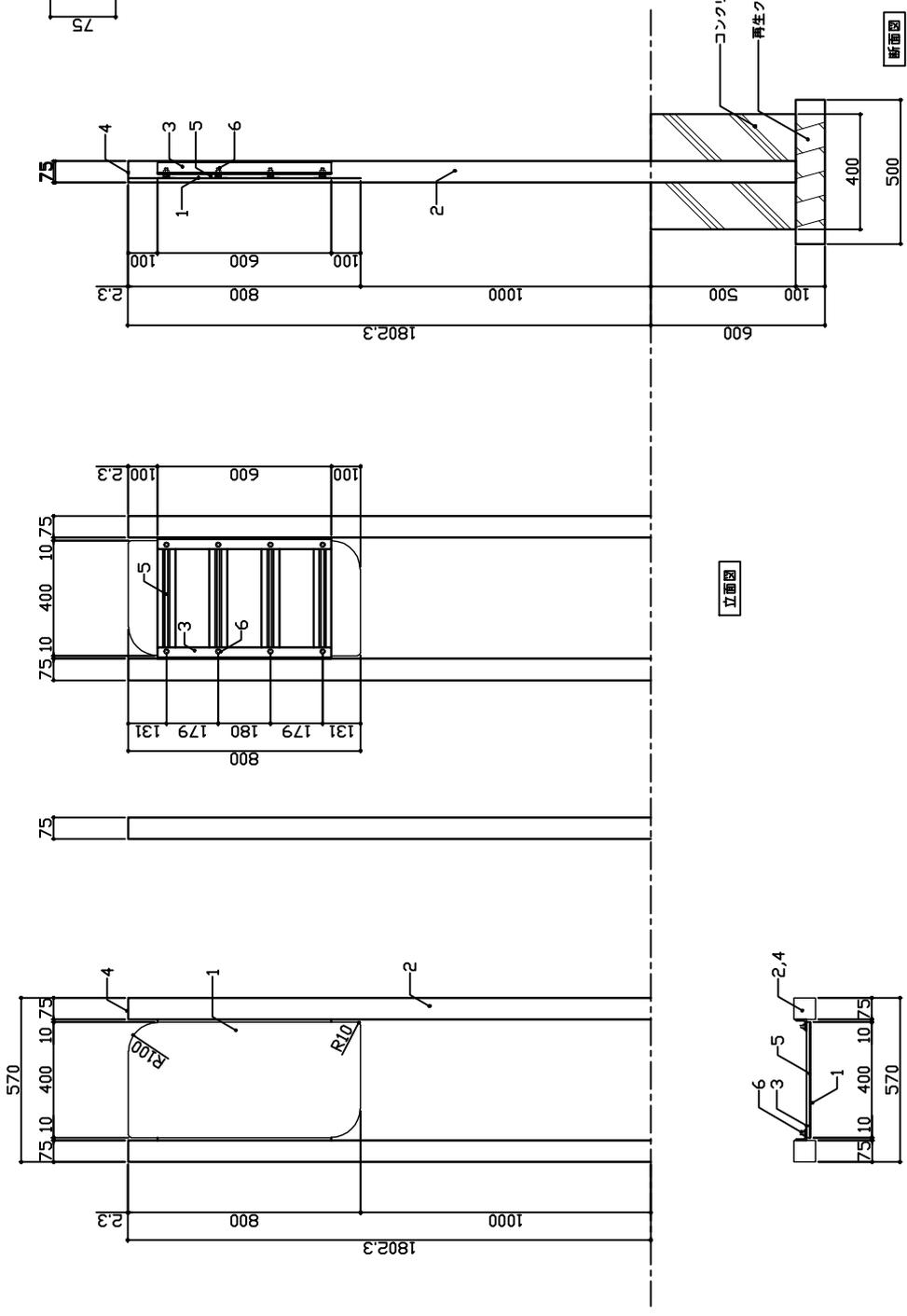


詳細図

材料一覧表

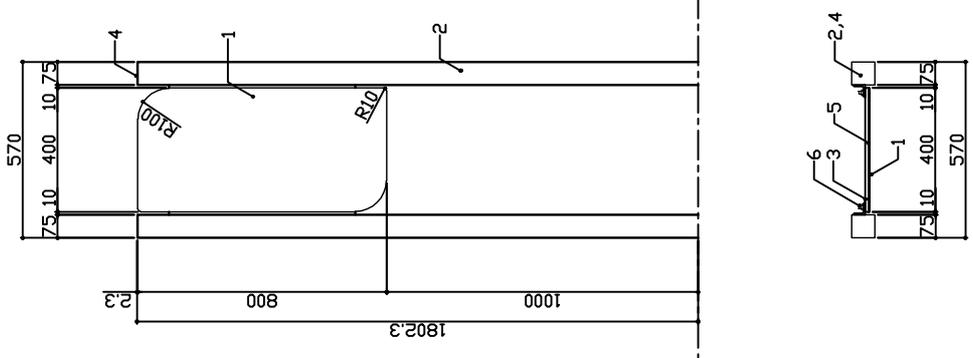
番号	名称
1	アルミ板 2t、フィルムシート貼り
2	75×75×3.2t
3	L-40×40×5t
4	PL-2.3t
5	アルミ板 2型金具（平リブ）
6	ホルト、ネット M10（面付メッキ）

特記事項
 1. 使用する鋼材は、海風塩害メッキ処理の上、SO
 P塗装仕上げとする。
 2. 添付内容については、別途承認書を提出の上、
 監理員の承認を得、製作する。
 3. フィルムシートはガラス（GFS）とする。



立面図

断面図



平面図

表示。説明機能 G 注意喚起 1, 2

管理台帳様式

南房総市公共サイン 管理台帳

管理番号	設置年月	年	月	名称	種別	所管課
	平成				サイン写真 (正面、側面、裏面、遠景等)	
設置場所	南房総市					
施工業者	業者名					
	部署・担当者					
	住所					
	電話番号	- - -				
備考欄						
現場案内図						

※設置場所住所の数字・ハイフンは半角で入力 (GIS対応)

メンテナンス記録

管理番号		設置場所		名称		種別										
		南房総市														
メンテナンス記録 (入カシート)																
No.	点検年月日	点検者	現 況				完了年月日	備 考								
			表示面		本 体											
			汚 色 落 ち ・ 剥 が れ	情 報 の 最 適 性	そ の 他	汚 れ	塗 装 色 落 ち ・ 剥 離	歪 み ・ 破 損	老 朽 化	そ の 他	要 要 要	清 掃	補 修	交 換	他	
1	年 月 日															
2	年 月 日															
3	年 月 日															
4	年 月 日															
5	年 月 日															
6	年 月 日															
7	年 月 日															
8	年 月 日															
9	年 月 日															
10	年 月 日															
			異常なしの場合は「0」、異常ありの場合は「1」を入力				該当する項目に「1」を入力									

南房総市公共サインデザインマニュアル

発行年 平成21年3月

発行 **南房総市**

千葉県南房総市富浦町青木28番地

編集 南房総市企画部企画政策課

0470-33-1001

協力 日本大学生産工学部建築工学科

川岸研究室